

平成21年度

尼崎の教職員を支援するために

— 平成21年度事業計画 —

— 平成20年度事業報告 —

尼崎市教育委員会事務局 学校教育室

教育総合センター

教育相談担当

目 次

平成21年度 事業計画

教育総合センター

1	これまでの研修及び見直しの必要性	1
2	尼崎の現状と課題	2
3	研修体系見直しの方針	4
4	具体的な取組	5
5	教育総合センター研修実施計画モデル図	9
6	教育総合センター研修一覧	10
7	教職員研修計画内容	12
8	視聴覚センターの研修・普及事業	18
9	研修・研修講座分担一覧	19
	[資料] 文科省・県教委等が実施する研修講座等に参加して行う研修一覧	
10	平成20年度教職員研修報告	22
11	平成20年度教科研究部会の概要報告	30
12	平成20年度視聴覚センター事業報告	34
13	平成20年度教科書事業報告	35
	[資料]	
	・平成20年度各校・園に依頼した研修への要望等に についてのアンケートのまとめ	36
	・欠席届（様式3・4・5）	38

教育相談担当

1	教育相談担当の運営方針	41
2	教育相談担当の主な事業概要	42
3	組織・事務分掌表	43
4	平成20年度教育相談担当の研修事業等報告	44

1 これまでの研修及び見直しの必要性

本市は、昭和 60 年「学校及び地域社会の教育課題解決に的確に対応できる教職員の人材育成のため、教育研究機関との連携を図り、教育実践並びに教員養成に関する理論的・実践的研究及び授業等を総合的、体系的に推進すること」を目的として、教育総合センターを開設した。これまでの取り組みをまとめると

- 1) 新しい教育課題への対応
- 2) 今日的な教育課題に基づいた研究や公開授業の指導案の作成指導
- 3) 幅広い分野（大学・民間等）からの講師招聘
- 4) 指導法の改善及び向上
- 5) 演習形式での研修を取り入れたことによる実践力の育成
- 6) 数学教育研究会・小学校音楽研究会等の教科研究会との連携で、研修と研究の充実に努めてきた。

法の改正や世代交代が急速に進み始め、新たな教育課題が出現し、これらへの対応が求められている。さらに、教職員が心身ともに健康で教育活動をさらに充実させることができるよう、既成概念や前例主義にとらわれない事業・研修及び調査等の見直しや出張の精選による教職員の負担感軽減への対応が求められている。これら見直しの必要性は、

- 1) 教育基本法の改正及び学習指導要領の改訂への対応
- 2) 新たな管理職・ミドルリーダーの養成への対応
- 3) 初任者増加に伴う研修・研究の充実への対応
- 4) 中核市移行に伴う研修体系への対応
- 5) 教育総合センター中心の研修から校内研修中心への対応
- 6) 研修講座数及び形態への対応

と整理できる。

平成 21 年度は、「尼崎の教職員を支援するために」を計画するにあたり、見直しの必要性を手がかりに研修体系全体を見直すこととした。

見直しは、尼崎の現状から課題を把握することに始まり、5 点からなる見直しの方針を決定した。本年度は、教員の資質向上を図ることに焦点化し、最重要課題とした。具体的には、中核市移行による研修の一部移譲を利用し、尼崎の独自性を初任研、10 年経験者研に反映した（P.7）。これらに加え、ミドルリーダーの養成と校内の人材による初任者研修の充実を図る立場から主幹教諭研修、拠点校指導員研修を試みる（P.10 一覧表）。尼崎の授業名人であるマイスター教員による模範授業及び研究協議を実施し、ひとりひとりの授業力と指導力を高める。

また、研修講座は整理統合による削減と選択肢の充実に努め、ひとりひとりの教職員のニーズに応じたよう努める。

2 尼崎の現状と課題

平成21年度に向けて研修体系を見直すため、尼崎の現状と課題を分析した。

現状と課題

①基礎学力の定着 ②家庭学習の習慣化

本市で行っている学力・生活実態調査によると、平成19年度から平成20年度にかけて小・中学校において各教科とも概ね通過率の上昇が見られる。基礎学力の確実な定着に向けて、教師の指導力の向上が課題である。

表1は、平成20年度の全国学力・学習状況調査の結果の一部である。これらの3項目は、全国平均と比べ数値の低い項目である。㉗～㉙の項目から、家庭での教育力が全国に比べ低いととらえることができる。基礎学力の定着のためには、児童生徒の家庭学習の習慣化を図ることが課題である。

【表1 家庭とのかかわり】

内 容	小学6年	中学3年
㉗家で自分で計画を立てて勉強しているか。 (している・どちらかといえばしている割合)	尼 45.4 % 全 52.0 %	尼 26.3 % 全 34.2 %
㉘普段(月～金曜日)、何時ごろ起きるか。 (7時までに起きる割合)	尼 52.3 % 全 75.0 %	尼 41.8 % 全 65.1 %
㉙家で学校の授業の復習をしているか。 (している・どちらかといえばしている割合)	尼 30.7 % 全 43.4 %	尼 23.0 % 全 39.6 %

[平成20年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙の概要より]

尼・・・本市の平均 全・・・全国の平均

③不登校生徒への対応 ④配慮を要する児童生徒への対応

表2は不登校児童(小学校)の出現率を、表3は不登校生徒(中学校)の出現率を表したものである。本市において不登校児童(生徒)の出現率を全国と比較すると、小学校では低くなっているものの、中学校では、逆に高くなっているのが現状である。

また、教育相談課が行っている「発達障害の幼児児童生徒の状況調査」によると、LD・ADHD等の児童生徒数が近年増加している。

このような現状に対応するためには、一人一人の実態に応じた指導を充実することが課題である。

【表2 不登校児童の出現率と実数】

	H17	H18	H19
全国	0.32 %	0.33 %	0.34 %
本市	0.22 %	0.30 %	0.30 %
全国	22,566	23,644	23,751
本市	52	72	72

[学校基本調査確定値より]

【表3 不登校生徒の出現率と実数】

	H17	H18	H19
全国	2.89 %	3.01 %	3.07 %
本市	4.05 %	3.93 %	3.91 %
全国	96,972	99,874	102,113
本市	408	398	398

[学校基本調査確定値より]

注：不登校児童(生徒)の出現率 [%] = 不登校児童(生徒)数 ÷ 児童(生徒)数 × 100

⑤幼・小・中の連携

一人一人の子どもの育ちを見取るためには、成長過程を知ることが大切である。教員は、自分の勤務している学校や園で子どもの様子はわかるが、異校・園種の中で育っている子どもの様子はなかなかわからない。本市においては、小1プロブレム・中1ギャップ（学力低下等）・不登校生徒の多さといった問題がある。学校・園段階での役割を再確認し、一貫性のある教育を推進するために異校・園種の連携を図ることが課題である。

⑥地域との連携

表4は、「平成20年度 全国学力・学習状況調査の結果」の一部である。地域行事に参加している割合が、全国平均より20ポイント以上低い。地域に根ざした尼崎の子どもを育てるために地域との連携を深めることが課題である。

【表4 地域とのかかわり】

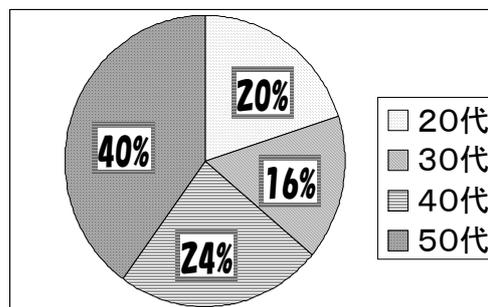
内 容	小学6年	中学3年
○今住んでいる地域の行事に参加しているか。	尼 35.4 %	尼 14.8 %
(当てはまる・どちらかといえば当てはまる割合)	全 59.9 %	全 37.0 %

[平成20年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙の概要より]

尼・・・本市の平均 全・・・全国の平均

⑦組織力の維持・向上

本市の年齢別教員数を見てみると、50代の教員数の割合が最も高い。これからの数年間多くのベテラン教員の退職が続く。それに伴い若い教員数の割合が高くなることが予想され、組織力を維持・向上させることが必要となる。そのためにも、管理職のリーダーシップや若手教員への教育技術の伝達が課題である。



注：図中のデータは、平成20年度の小・中学校教員数を合わせたものである。

【図1 年齢別教員数の割合】

[平成20年度尼崎の教育より]

3 研修体系見直しの方針

研修体系を見直すにあたり、以下の5点を基にして検討した。

本年度は、教員の資質向上を最重点課題と捉え、取り組むものとする。

1 教員の資質向上を図る

平成21年度研修体系を見直すにあたって、尼崎の現状と課題を把握し、分析を行った。それらの課題を解決するためには、

○情熱・使命感

○責任感

○確かな力量

○柔軟な対応力

といった資質の向上が必要であると考えた。

そこで、それらの資質を備えた教師像（あるべき教師像）を掲げ、その教師像に迫れるように見直す。

2 課題に対応する研修の充実を図る。

学校内においては、基礎学力の定着、配慮を要する児童生徒への対応、幼、小、中との連携などの課題がある。また、それらとも大きく関わって、学校・家庭・地域との連携などの課題もあげられる。そのためにも今日的課題を考え研修を見直す。

3 新学習指導要領に対応する

小学校は平成23年度より、中学校は平成24年度より新学習指導要領が完全実施されることとなる。そこで、言語活動の充実・道徳教育の充実等、新学習指導要領に対応できるように見直す。

4 中核市移行に対応する

平成21年度より本市は、中核市に移行する。そこで、初任者研修や10年経験者研修など法定研修において、中身については、本市の独自性を織り込ませるように見直す。

5 学校のニーズに応える

教員の資質向上を図るためには、市の研修や学校で行う校内研修と自己研修が相互に関連することが大切である。そこで、校内研修の実態を把握するとともに、校・園長に対して行った研修に対する要望等のアンケートで得た情報を活用し、本市の研修に反映していくなどして、学校・園のニーズに的確に応えられるように見直す。

4 具体的な取組

「3 研修体系見直しの方針」を受け、「あるべき教師像」を掲げ、研修を実施する。
また、中核市移行をふまえた尼崎独自の研修や新学習指導要領に対応した研修を実施する。
さらにそれらが校内研修や自己研修と相互に関連し合う研修体系をめざす。

1 教員の資質向上を図る

あるべき教師像（丸数字は、「現状と課題」の項目を表す）

- ・ 仕事に対する情熱・使命感をもった教師 ←----- ⑥・⑦
- ・ 子どもに対する愛情や責任感のある教師 ←----- ③・④・⑤
- ・ 教科指導や子ども理解力など確かな力量のある教師 ← ①・③・④・⑥
- ・ 時代の変化や今日的な教育課題に対応できる教師 ←--- ①・②・⑤・⑥・⑦
（マネジメント力・適応力・連携力など）



2 課題に対応する研修の充実を図る

本市の課題に対応した研修をめざす。

- ・授業力向上のために授業研究を中心とした研修の充実
- ・カウンセリングの技法や生徒指導の理念など、子ども理解のための研修を充実
- ・幼、小、中の連携を図る研修の充実
- ・マイスター教員の授業等で、若手教員への教育技術の伝達を図る研修の充実
- ・地域との連携を図るため地域を知る研修の充実

3 新学習指導要領への対応

新教育課程の充実をめざす。

- ・言語活動の充実（言語活動、図書館教育など）
- ・理数教科の充実（算数・数学科教育、理科教育など）
- ・伝統や文化に関する教育の充実（体育科教育→武道）
(音楽科教育→和楽器の活用)
- ・道徳教育の充実（道徳教育）
- ・小学校外国語活動の新設（小学校外国語活動）

4 中核市移行への対応

(1) 初任者研修（法定研修）

「尼崎を知る、尼崎を見つめる」をテーマに研修を実施する。地域を歩いて学ぶ地域学習や尼崎市防災センターで行う地域防災教育など、初任者教員は体験を通して本市を知ることをめざす。

また、初任者研修の校外研修（年間25日）における県教委から本市に移譲される研修は、次の図のようになる。

		平成20年度		平成21年度	
初任者研修 (法定研修)	校外	県教委	<ul style="list-style-type: none"> 全県一般研修（2回） 3泊4日宿泊研修 地区情報教育宿泊研修（2回） 合計8日	県教委	<ul style="list-style-type: none"> 全県一般研修（2回） 3泊4日宿泊研修 （県と共催） 合計6日
		阪神南	<ul style="list-style-type: none"> 一般研修（1回） 課題別研修（7回） 合計8日	阪神	<ul style="list-style-type: none"> 一般研修（1回） 合計1日
		市教委	<ul style="list-style-type: none"> 教科指導 尼崎養護学校体験 教育課題 社会体験 選択研修（5回） 合計9日	市教委	<ul style="list-style-type: none"> 教科指導 尼崎養護学校体験 教育課題 社会体験 選択研修（5回） 課題別研修（7回） 地区情報教育研修（2回） 合計18日
			校外研修日数25日	校外研修日数25日	
校内		校内研修日数60日以上		校内研修日数60日以上	

(2) 10年経験者研修（法定研修）

「尼崎の今日的課題を見つめる」をテーマに研修を実施する。学力向上や家庭、地域との連携など本市の課題解決に向けて、授業やグループ討議から実践力を養う。

共通研修（1日） 尼崎市の教育課題について考える	
教科指導等研修（5日間程度） グループによる授業研究や市内教頭による指導助言などにより、授業力の向上をめざす。	生徒指導等研修（3日間程度） 子ども理解、保護者との連携、組織的な生徒指導など、本市の実態に即した内容により、指導力の向上をめざす。
適性に応じた得意分野づくりの研修（3日間程度） 地域の活動に参加し、学校教育との連携を図る。（地域活動研修講座）	

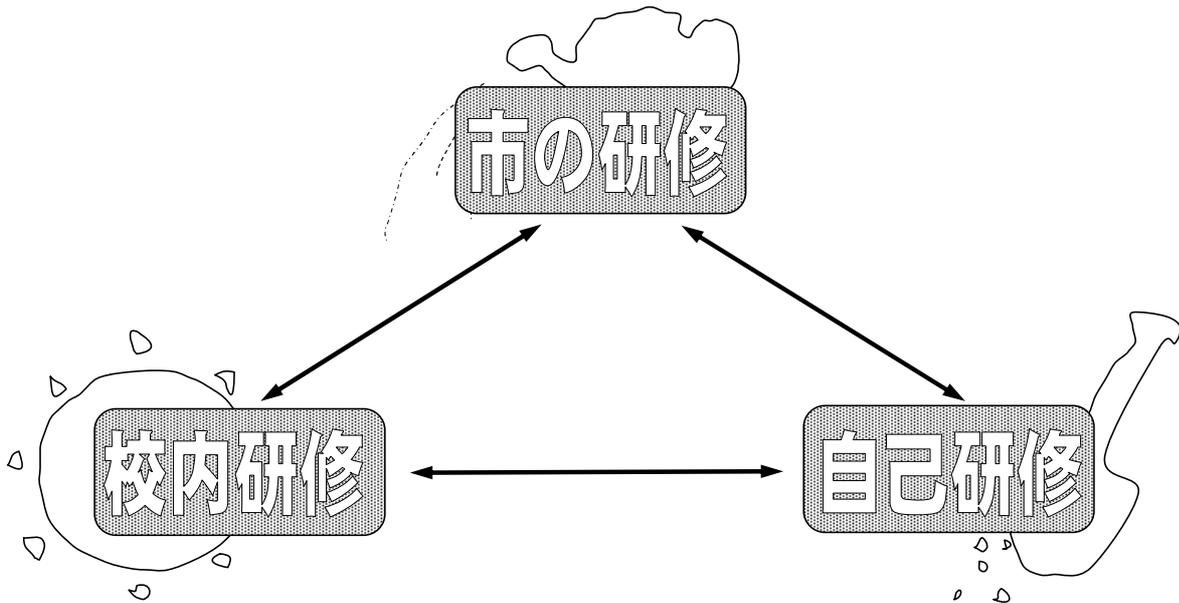
(3) 5年目教員研修

マイスター教員などを講師に招聘し、授業力や指導力の向上をめざす。

(4) 15年目教員研修

視野を広め、新たな意識改革をめざす。また、若い教員に対して指導を行うことを研修と位置付け実施していく。

5 学校のニーズに応える



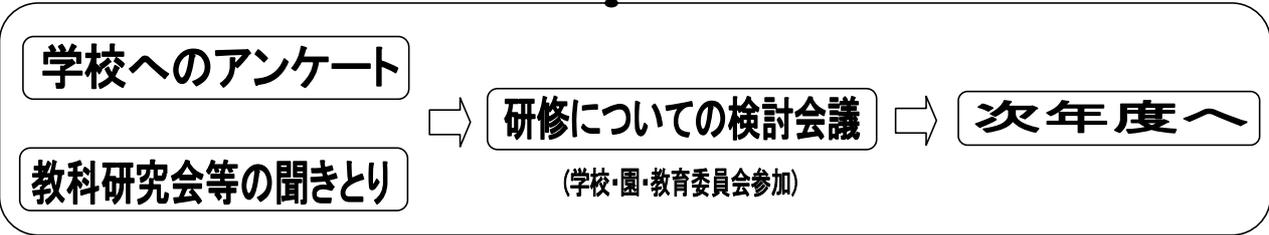
《校内研修との連携》

- 1 校内で行われている教科等の研究に関わる最新の技術や情報を教育総合センターホームページに載せるなど情報提供を充実する。
- 2 マイスター教員による授業公開や、日常の授業において行われる授業改善アドバイザーによる支援などの実践的な研修により、日々の授業や校内研究授業に役立つ取組を強化する。
- 3 研究部会の部員が、研究の成果を校内研修などで広めることにより技能や知識の共有化を図る。
- 4 わかりやすい授業づくりのためICT活用などの講師として校内研修に参加し支援の充実を図る。

《自己研修との関わり》

- 1 教員自ら行う自己研修は、資質向上に向けて、最もベースとなる活動である。
この活動を支援するような教科指導や子ども理解、学級経営など個々のニーズに合った研修を充実する。
- 2 教育総合センターにおいては、最新の教育情報を提供する情報コーナー（書籍や雑誌）や自主研究グループに対し研修室を夜間まで開放する。
また、個々の教員の要望（書籍等の情報や授業指導案作成など）にできる限り応えるためスタッフの支援を強化する。

教員は、自主的に取り組む活動を基盤として、管理職や同僚、子どもや保護者そして地域の人々などから日常的な職務を通して仕事を学び、計画的そして実践的な校内研修により成長する。それらの活動を側面から支援していくのが教育総合センターなどで実施する研修である。
アンケートや聞きとりなどにより参加教員や学校、教科研究会等のニーズを把握し、それをもとにして研修について検討する会議を開催するなど、校内研修や自己研修と連携を図りながら研修を充実していく。



5 教育総合センター研修実施計画モデル図

教員の資質向上をめざした研修体系

尼崎の現状と課題

- | | | |
|------------------|-------------|-------------|
| ① 基礎学力の定着 | ② 家庭学習の習慣化 | ③ 不登校生徒への対応 |
| ④ 配慮を要する児童生徒への対応 | ⑤ 幼・小・中の連携 | |
| ⑥ 地域との連携 | ⑦ 組織力の維持・向上 | |

あるべき教師像

①仕事に対する情熱・使命感を持った教師



若手教員に対応した研修
研究主任や教務担当者などミドルリーダーに対応した研修
校長や教頭、主幹教諭などの職階に応じた研修

②子どもに対する愛情や責任感のある教師



不登校児童生徒支援や特別支援教育、カウンセリングなどに関する研修
安全主任や養護教諭、外国語中核教員など職責を遂行するための研修

③教科指導や子ども理解力など確かな力量のある教師



教科の指導力向上をめざした研修
(言語活動の充実やICT活用など)
子ども理解力を高める研修
(学級経営や幼児教育など)

④時代の変化や今日的な教育課題に対応できる教師



時代のニーズに対応した研修(尼崎市出身の著名人や企業経営者などを招聘する)
今日的な課題をテーマにした研修(保護者や地域との連携、情報モラルなど)

中核市尼崎に移譲される研修

本市に移譲される研修

- ① 初任者研修(法定研修)
地域学習 社会体験 子ども理解
環境教育 地域防災教育 授業公開
- ② 10年経験者研修(法定研修)
メンタルヘルス 接遇 教科指導
生徒指導 地域参加活動
- ③ 5年目教員研修
マイスター教員の活用(授業力・指導力向上など)
- ④ 15年目教員研修
地域人材の活用(尼崎の歴史・文化環境など)

新学習指導要領に対応した研修

新設や増設、充実させる研修

- ① 言語活動に関する研修の新設・充実
言語活動 図書館教育
- ② 理数教科の教科教育研修講座の充実
算数・数学科教育 理科教育
- ③ 伝統や文化に関する研修講座の充実
体育科教育(武道など)
音楽科教育(和楽器など)
- ④ 道徳教育に関する研修講座の増設
道徳教育
- ⑤ 外国語教育等の研修の新設・増設
外国語活動中核教員の研修
小学校外国語活動

6 教育総合センター研修一覽

種別	中分類	新設★ 移譲◎	研修・研修講座名	使命感	責任感	力量	教育課題	内容・領域（例示）	対象	今年度廃止した研修・研修講座（廃止の理由または目的）		
受講しなければならない研修（基本研修）	職階に応じた研修		校・園長研修	○		○	学校経営課題（組織マネジメント）		校長・園長	2年目教頭派遣研修 （地域活動研修講座へ移行）		
			新任校・園長研修	○	○		校長の職務		新任校長・園長			
			教頭研修	○		○	学校経営課題（教員の養成）		教頭			
			新任教頭研修	○	○		教頭の職務		新任教頭			
			新任管理職コンピュータ研修			○	AMA-NET・通信の基本管理等		新任校長・教頭			
		★	主幹教諭研修	○	○		リーダーとしての組織の活性化		主幹教諭			
	職務に応じた研修			教務担当・教務主任研修	○		○	教務担当・教務主任の職務		教務担当・教務主任	管理職人権研修 （人権教育研修講座と統合）	
				研究主任研修	○		○	研究主任の職務		研究主任		
				学年主任研修	○		○	学年主任の職務		学年主任各校1人参加		
		★		外国語活動中核教員研修		○		外国語活動中核教員の職務		外国語活動中核教員		
		★		拠点校指導教員研修	○		○	拠点校指導教員の職務（初任者指導に向けた資質の向上）		拠点校指導教員		
				安全主任研修		○		安全・防災		安全主任		
				養護教諭研修		○		健康管理		養護教諭		
				教育用コンピュータ管理担当研修			○	教育用コンピュータシステムの管理と運用		全校種情報教育担当教員		
	教職経験年数に応じた研修	1年目教員必修研修	◎	1年目教員必修研修	第1回	○		尼崎の教育、AMA-NET活用、学級、地域を学ぶ（グループ別）		（幼・高校を含む）	2年目教員研修 （人権教育研修講座と統合）	
			◎		第2回		○	情報教育(1) 学習用コンピュータシステムの活用		1年目教員必修		
			◎		第3回	○	○	尼崎養護学校体験				（養護教諭を含む）
			◎		第4回	○	○	安全教育（AEDなど）、教科等指導（指導案作成）				
◎			第5回		○	○	人権教育、学級経営、指導力向上（グループ別）					
◎			第6回		○	○	環境教育、カウンセリング、教育相談、児童理解					
◎			第7回		○	○	接遇、地域を学ぶ（グループ別）					
◎			第8回		○		教科等指導（道徳）、教材づくり					
◎			第9回		○		防災教育（施設見学・体験）					
◎			第10回			○	生徒指導、社会体験報告会（職場体験フォーラム）					
◎			第11回			○	情報教育(2) ICTを活用した教材づくり					
◎			第12回			○	地域・保護者との連携、初任研のまとめ（グループ別）					
ステップ・アップ研修（選択）				ステップ・アップ研修（選択）	(1)		○	学校実務等			1年目教員選択	3年目教員研修 （人権教育研修講座と統合）
			(2)			○	実技指導、食育の実践					
			(3)			○	授業設計1～4（指導案の作成）					
			(4)			○	指導実践発表と意見交換					
★			2年目教員授業実践研修			○	公開授業の実施とマンツーマンの指導を伴う研修		2年目教員	4年目教員研修		
			4年目教員交流研修			○	異なる校・園種に行き、授業の参観と実践		幼・小・中・高の4年目教員	（人権教育研修講座と統合）		
◎			5年目教員研修			○	共通研修（授業力・指導力向上）		5年目教員	（人権教育研修講座と統合）		
◎			10年経験者研修			○	共通研修（尼崎の今日的課題に取り組む）		10年経験教員	1～4年目養護教員研修 （養護教諭研修と統合）		
◎			15年目教員研修			○	任意の11研修を選択（地域活動研修講座は必修）		15年目教員			
◎						○	共通研修（若い教員への実践的な指導を行う）					
◎			20年目教員研修			○	個人の自覚を元に任意の研修を2講座選択		20年目教員			
★			常勤の臨時講師研修	(1)		○	教員としての必要な知識や自覚		2年目までの常勤の臨時講師			
★	(2)			○	(1)を受講できなかった場合に受講							
			管外転入教員研修			○	本市の教育課題とこれまでの取組		管外転入教員			
希望による研修（専門研修）	今日的課題に対応した研修		人権教育研修講座 一般教養研修講座 ★地域活動研修講座 ★学校飼育動物研修講座 校務の情報化研修講座 統計処理入門研修講座 プレゼンテーション入門研修講座 情報モラル・セキュリティ入門研修講座 情報システム活用研修講座 学校事務支援システム活用研修講座	(1)		○	学級づくりと自尊感情		全教職員	人権教育研修講座 （3講座を2講座に統合し、内容の精選を図る） 一般教養研修講座 （2講座を1講座に統合し、内容の精選を図る） 社会体験研修講座 （地域活動研修講座へ移行） 教育法規研修講座 （他の研修講座のなかで法規について扱う）		
		(2)			○	これからの人権教育の取組						
					○	尼崎の企業経営者に学ぶ						
					○	地域活動への参加・体験・貢献						
					○	小動物の扱い等についての留意点						
		(1)			○	成績処理入門						
		(2)			○	校務の合理化入門						
		(1)			○	説明力向上・プレゼンテーション演習 2回連続で受講すること。						
		(2)			○							
		(1)			○	情報モラル・セキュリティ入門 2回連続で受講すること。						
		(2)			○							
		(1)			○	学校・園ホームページ作成、コンテンツマネジメントシステム（CMS） 4回実施のうち、1つを受講する。						
(2)		○										
(3)		○										
(4)		○										
子どもの理解のため			カウンセリング基礎講座 生徒指導研修講座 不登校児童生徒支援研修講座 特別支援教育研修講座	(1)		○	カウンセリング入門研修		全教職員			
		(2)			○	カウンセリングの基本的な演習						
					○	事例研究を通じた子ども理解						
					○	不登校児童生徒の理解及び対応						
		(1)			○	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応						
(2)		○	実践事例を通じた子ども理解									

種別	中分類	新設★☆☆	研修・研修講座名	使命感	責任感	力量	教育課題	内容・領域（例示）	対象	今年度廃止した研修・研修講座（廃止の理由または目的）	
希望による研修（専門研修）	教科等の指導力向上をめざした研修	★	言語力向上研修講座			○		N I Eを利用した言語活動の実践	全教員	国際理解教育研修講座 （総合的学習研修講座と統合）	
			道徳教育研修講座	(1)		○		「心のノート」を活用した道徳の時間の実践			
		☆	道徳教育研修講座	(2)		○		道徳の授業及び研究協議			
			学級経営研修講座				○				心の通う学級づくり
			国語科教育研修講座	(1)		○		「語彙力」を育てる指導法			
			国語科教育研修講座	(2)		○		「書くこと」で育つ学力			
		☆	社会科教育研修講座	(1)		○		学力向上をめざした小学校社会の授業づくり			
			社会科教育研修講座	(2)		○		地域教材を使った中学校社会科教育			
			算数科教育研修講座				○				学力向上をめざした小中連携（小学校からの視点）
			数学科教育研修講座				○				学力向上をめざした小中連携（中・高校からの視点）
		☆	理科教育研修講座	(1)		○		新学習指導要領に対応した小学校理科実験			
			理科教育研修講座	(2)		○		演習を通して授業力向上をめざした中学校理科の授業づくり			
			生活科教育研修講座				○				科学的な見方、考え方を培う指導法「つくって遊ぼう」
			幼児教育研修講座	(1)		○		子どもの発想を育てる描写指導			
			幼児教育研修講座	(2)		○		心を育てるリズム表現			
			音楽科教育研修講座				○				民謡や伝統音楽の指導法
			図工・美術科教育研修講座				○				新学習指導要領に対応した実技指導
			体育科教育研修講座	(1)		○		新学習指導要領に対応した小学校ボール運動			
			体育科教育研修講座	(2)		○		中学校武道「柔道」について			
			英語科教育研修講座				○				コミュニケーション能力を育成する中・高校の授業づくり
		☆	小学校外国語活動	(1)		○		歌やゲームの効果的な利用			
			小学校外国語活動	(2)		○		クラスルームイングリッシュの活用法			
			総合的学習研修講座				○				環境教育をテーマにした授業づくり
			図書館教育研修講座				○				授業が生きるブックトーク
			技術・家庭科教育研修講座				○				著作権など、授業で行う情報モラル教育
			食育研修講座				○				心とからだを元気にする食育のすすめ
			小情報教育研修講座	(1)		○		子どもたちの情報活用能力の育成			
			小情報教育研修講座	(2)		○		2回連続で受講すること。			
			中・高情報活用推進研修講座				○				生徒の情報活用能力を育てる中・高校情報教育
			公開授業研修講座		(小学校)	(1)		○			1年目教員による公開授業及び研究協議
		(小学校)		(2)		○					
		(中学校)		(3)		○					
		(中学校)		(4)		○					
		(小学校)		(5)		○					
		(小学校)		(6)		○					
		(中学校)		(7)		○					
		(中学校)		(8)		○					
		(小学校)		(9)		○					
		(小学校)		(11)		○					
		(中学校)		(11)		○					
		(中学校)		(12)		○					
		(小学校)		(13)		○					
		(小学校)		(14)		○					
		(中学校)		(15)		○					
		(中学校)		(16)		○					
★	マイスターによる公開授業研修講座	(小学校)	(17)		○	マイスター教員による模範授業及び研究協議	全教員 3年目教員は3つの授業から1つ選択すること				
★		(中学校)	(19)		○						
	視聴覚教材作成研修講座		(1)		○	小学校学習用コンピュータを使ったビデオ編集	全教員				
			(2)		○	中学校学習用コンピュータを使ったビデオ編集					
	教育研究発表会				○	教育総合センター研究発表会					
特別に実施する	出前講座		小学校コンピュータ特別研修			○	ぐんぐんのびる個別ドリルシステム	小学校教員			
			ホームページ作成研修			○	学校・園ホームページの作成	全教員			
			学級経営特別研修			○					
			授業づくり特別研修			○					
	臨時研	★	特別臨時研修	(1)		○	課題に対応した研修等(1)(2)				
		★	特別臨時研修	(2)		○					

★：平成21年度より新設した研修 ◎：中核市のなったことにより県から移譲された研修 ☆：平成21年度より増設した研修
 使命感：仕事に対する使命感をもった教師 責任感：子どもに対する愛情や責任感のある教師
 力量：教科指導や子ども理解力など確かな力量のある教師 教育課題：時代の変化や今日的な教育課題に対応できる教師

7 教職員研修計画内容

受講しなければならない研修（基本研修）

職階に応じた研修（職階別研修）

（実施時期で、夏季は夏季休業中）

研修講座名	実施時期	目的	内容	対象	備考	教務・研究・学年主任選抜研修
校・園長研修	6月	管理職として、広い視野と洞察力の上に立って、今後の学校経営の在り方を考える。	学校経営課題 （組織マネジメントについて）	校・園長	講話	
新任校・園長研修	4月	管理職としての職務について理解を深め、望ましい学校・園経営の在り方を考える。	校長の職務	新任校長・園長		
教頭研修	7月	管理職としての職務について理解を深め、効果的な学校経営の在り方を考える。	学校経営課題 （教員の養成について）	教頭		
新任教頭研修	4月	管理職としての職務について理解を深め、望ましい学校経営の在り方を考える。	教頭の職務	新任教頭		
新任管理職コンピュータ研修		管理職としての職務について理解を深め、教育用コンピュータシステムの有効利用を図る。	AMA-NET・通信の基本管理	新任校長 新任教頭	演習	
主幹教諭研修	夏季	主幹教諭としての職務について理解を深め、学校全体のコーディネータやリーダーシップを高める。	リーダーとしての組織の活性化	主幹教諭		

職務に応じた研修（職務別研修）

研修講座名	実施時期	目的	内容	対象	備考	教務・研究・学年主任選抜研修
教務担当・教務主任研修	夏季	新しい教育課題について研修し、学校・園運営に役立てる。	教務担当・教務主任の職務	教務担当 教務主任	講話	
研究主任研修		学校における組織的、計画的な研究の在り方を理解し、効果的な学校運営に役立てる。	研究主任の職務	研究主任		
学年主任研修		学年運営について理解を深め、効果的な学年経営に役立てる。	学年主任の職務	学年主任 各校1人		
外国語活動中核教員研修	5月	小学校外国語活動の基本理念を知り、研修計画立案等に役立てる。	外国語活動中核教員の職務	外国語活動中核教員	演習	
拠点校指導教員研修	6月	初任者の授業力向上を図るための指導力を身につける。	拠点校指導教員の職務（初任者指導に向けた資質の向上）	拠点校指導教員		
安全主任研修	夏季	学校事故の原因や内容についての理解を深め、安全教育の指導力の充実を図る。	安全・防災	安全主任	講話	
養護教諭研修	11月	保健指導のあり方についての理解を深め、保健指導の指導力の充実を図る。	健康管理	養護教諭		
教育用コンピュータ管理担当研修	4月	教育用コンピュータシステムについて理解を深めるとともに、管理と運営に関する知識や技術を習得する。	教育用コンピュータシステムの管理と運用	教育用コンピュータ管理担当教員	演習	

経験年数に応じた研修（経験年数別研修）

研修講座名	実施時期	目的	内容	対象	備考	教務・研究・学年主任選抜研修	
1年目教員必修研修	5/19 (第1回)	本市の教員としての自覚を促し、教員としての資質・技能の向上と実践への意欲を高める。	尼崎の教育・歴史、AMA-NET活用、学級経営、地域を学ぶ（グループ別）	幼・小・中・特別支援学校・高校の初任者研修対象者	演習		
	6/9 6/16 (第2回)		情報教育（1） 学習用コンピュータシステムの活用	小・中・特別支援学校の初任者研修対象者			
	6/2 6/30 (第3回)		尼崎養護学校一日体験	小・中・特別支援学校の初任者研修対象者（養護教諭を含む）	実習		
	7/7 (第4回)		安全教育（AED）と教科指導の留意点	小・中・特別支援学校の初任者研修対象者	実習 演習		
	7/28 (第5回)		人権教育、学級経営、指導力向上（グループ別）				
	8/25 (第6回)		環境教育、カウンセリング、教育相談、児童理解				
	10/6 (第7回)		接遇、学級経営、地域を学ぶ（グループ別）				
	10/20 (第8回)		道徳教育、教材づくり				
	11/10 (第9回)		防災教育（施設見学と体験）				
	11/24 (第10回)		生徒指導、職場体験フォーラム				
	12/8 1/26 (第11回)		情報教育（2） ICTを活用した教材づくり				
	2/2 (第12回)		地域・保護者との連携、初任者研修のまとめ（グループ別）				
ステップ・アップ研修	5/26 (1)	教育課題を実践的に学び、実験の指導力やスキルアップを図る。	学校実務と理科実験安全			演習	
	8月 (2)	今日的教育課題について、実践的に学びスキルアップを図る。	実技指導、食育の実践				
	10月 ～11月 (3)～(6)	教育課題を実践的に学び、指導案の作成を中心にスキルアップを図る。	授業設計1・2・3・4 (指導案の作成)				
	2/16 (7)	ポートフォリオ評価により、自己の実践を振り返り、次年度に生かす。	指導実践発表と意見交換				

研修講座名	実施時期	目的	内容	対象	備考	教務・研究・学年主任選択研修
2年目教員授業実践研修	9月～2月	個別の指導により、個人の課題に応じて確かな指導力を身につける。	教育実践力向上をめざし、授業公開の実施とマンツーマンの指導を伴う研修	小・中・特別支援学校の2年目教員	授業	
4年目教員交流研修	9月～2月	異なる校・園種の子どもや教職員と関わることにより、他校・園種の教育活動を学ぶ。	異なる校・園種に行き、授業の参観と実践	小・中・特別支援学校の4年目教員		
5年目教員研修	夏季	これまでの教育実践を踏まえ、指導力向上を図るとともに各自の課題を把握し今後の教員生活の充実に資する。	授業力・指導力を図る共通研修(1日)	小・中・特別支援学校の5年目教員	講話	
10年経験者研修	5月及び通年	個々の能力や適性、ニーズに応じて研修を実施し、指導力向上など教員としての資質の向上を図る。	「尼崎の今日的課題」をテーマにした共通研修及び選択研修11日(幼稚園は4日)	幼・小・中・特別支援学校の10年目教員	演習	
15年目教員研修	夏季	中堅教員として多様化する教育課題に適切に対応できる広い視野と実践的指導力を身につける。	視野を広め、意識改革を図り、若い教員への指導をテーマにした共通研修及び選択研修1日	小・中・特別支援学校の15年目教員		
20年目教員研修	通年	これからの教育課題を理解し、中堅教員として教育の理論と広い視野を身につける。	個人の自覚をもとに、専門研修から2講座を選択し、視野を広げる	小・中・特別支援学校の20年目教員	講話	
常勤の臨時講師研修(1)(2)	6月または10月	職務を遂行する上で必要な知識や教員としての資質を身につける。	教員としての必要な知識を身につけ、教員としての自覚を高める	小・中・特別支援学校の2年未満の常勤の臨時講師	演習	
管外転入教員研修	4月	本市の教育の現状と課題について理解し、実践への意欲と教員としての自覚を高める。	本市の教育課題とこれまでの取組	管外転入教員	講話	

希望による研修(専門研修)

今日的課題に対応した研修(教職課題研修講座)

研修講座名	実施時期	目的	内容	対象	備考	教務・研究・学年主任選択研修
人権教育研修講座(1)(2)	夏季	教育の本質に根ざした人権教育を推進するため、人権にかかわる教育課題に対する理解を深め、指導力の向上を図る。	学級づくりと自尊感情	全教職員	講話	
一般教養研修講座		社会の動向等、教育界だけでなく他の領域の知恵に学び、視野を広げる。	これからの人権教育の取組			○
地域活動研修講座	通年	地域に積極的に貢献し、地域の課題を知ることで教育活動に活かす。	地域における活動に参加・体験・貢献	全教員		○
学校飼育動物研修講座	5月	学校内での飼育動物について管理や繁殖、施設や環境を知り、幼児・児童によりよい体験を与える環境について学ぶ。	小動物の扱い等のについての留意点			
校務の情報化研修講座(1)(2)	夏季	表計算ソフトを活用するための知識と技術を習得し、教育活動の充実に資する。	成績処理入門	全教職員	演習	○
		教育事務能力を養うための知識と技術を習得し、教育活動の充実に資する。	校務の合理化入門			○

研修講座名	実施時期	目的	内容	対象	備考	教務・研究・学年主任選択研修
統計処理入門研修講座	夏季	アンケート等の集計や処理を行うための知識と技能を習得する。	統計処理・情報分析入門	全教職員	演習	○
プレゼンテーション入門研修講座(1)(2)		教育活動に活かすための基本的なプレゼンテーション技能を習得する。	説明力向上、プレゼンテーション演習 2回連続で受講すること			○
情報モラル・セキュリティ入門研修講座(1)(2)		学校での情報管理の重要性と社会的責任を考え、漏洩対策の基本的な知識技能を習得する。	情報モラル・セキュリティ入門 2回連続で受講すること			○
情報システム活用研修講座(1)(2)(3)(4)		学校園のホームページに特化して、適切な情報発信を考える。	学校・園ホームページ作成、コンテンツマネジメントシステム(CMS) 4回実施のうち、1回を受講する			○
学校事務支援システム活用研修講座	1月	学校事務処理支援システムの活用方法を習得し、効率的かつ円滑な業務の遂行を図る。	学校事務支援システムの活用	事務職員		

子ども理解のための研修（教育相談研修講座）

研修講座名	実施時期	目的	内容	対象	備考	教務・研究・学年主任選択研修
カウンセリング基礎講座(1)(2)	夏季	児童生徒への理解を深め、教職員のカウンセリングマインドの向上を図る。	カウンセリング入門	全教職員	講話	○
			カウンセリングの基本的な演習		演習	○
児童生徒の問題行動を把握し、児童生徒理解を高め、指導力の向上を図る。		事例研究を通した子ども理解	○			
不登校の児童・生徒の実態と支援の在り方について、理解を深める。		不登校児童生徒の理解及び対応	○			
特別支援教育研修講座(1)(2)		教育的支援を要する子どもたちの教育における理論と実践について、理解を深める。	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応		講話	○
		実践的事例を通した子ども理解	○			

教科等の指導力向上をめざした研修（授業力向上研修講座）

研修講座名	実施時期	目的	内容	対象	備考	教務・研究・学年主任選択研修
言語力向上研修講座	夏季	言語活動の充実を図るための授業のあり方を学び、指導力の向上を図る。	NIEを利用した言語活動の実践	全教員	講話	
道徳教育研修講座(1)(2)			「心のノート」を活用した道徳の時間の実践			
		12月	児童生徒の心情を大切にする授業の在り方について研修し、指導力の向上を図る。	道徳の授業及び研究協議		授業

研修講座名	実施時期	目的	内容	対象	備考	教務・研究・学年主任選択研修
学級経営研修講座	夏季	児童生徒理解をもとにした学級経営について研修し、指導力の向上を図る。	心の通う学級づくり	全教員	演習	
国語科教育研修講座(1)(2)		国語科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	「語彙力」を育てる指導法			
			「書くこと」で育つ学力			
社会科教育研修講座(1)(2)		社会科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	学力向上をめざした小学校社会科の授業づくり			
			地域教材を使った中学校社会科の授業づくり			
算数科教育研修講座		新しい教育課題に取り組み、児童生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	算数と数学・他教科のつながり			
数学科教育研修講座			教材に視点をのいた中高連携			
理科教育研修講座(1)(2)		理科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	新学習指導要領に対応した小学校理科実験			
			演習を通して授業力向上をめざした中学校理科の授業づくり			
英語科教育研修講座		英語教育の指導内容と方法について研修し、指導力向上を図る。	コミュニケーション能力を育成する中・高校の授業づくり			
生活科教育研修講座		実践例を通して学習活動の場づくりについて理解を深め、指導力の向上を図る。	科学的な見方・考え方を培う指導法「つくって遊ぼう」			
幼児教育研修講座(1)(2)		幼児教育についての理解を深め、保育実践における指導の充実を図る。	子どもの発想を育てる描写指導			
			心を育てるリズム表現			
音楽科教育研修講座	表現・鑑賞の活動を通して、音楽の基礎的な指導技術を学び、指導力の向上を図る。	新学習指導要領に対応した音楽科の授業づくり（民謡や伝統音楽）				
図工・美術科教育研修講座	図工・美術科に関する専門性を深めるとともに、造形的な創作活動について研修し、指導力の向上を図る。	新学習指導要領に対応した実技指導				
体育科教育研修講座(1)(2)	6月	体育科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す実技指導の技術を身につけ、指導力の向上を図る。	新学習指導要領に対応した小学校ボール運動			
	夏季		中学校武道「柔道」について			
技術・家庭科教育研修講座	11月	技術・家庭科の授業実践を図る技術を取得する。	著作権など、授業で行う情報モラル教室			

研修講座名	実施時期	目的	内容	対象	備考	教務・研究・学年主任選抜研修
小学校外国語活動研修講座(1)(2)(3)	夏季	小学校英語活動の指導内容と方法について研修し、指導力向上を図る。	歌やゲームの効果的な利用 クラスルームイングリッシュの活用法	全教員	演習	
総合的学習研修講座		「総合的な学習の時間」のねらいを踏まえ、学校の実態に応じた学習活動について理解を深め、指導力の向上を図る。	環境教育をテーマにした授業づくり			講話
図書館教育研修講座		学校図書館の積極的な活用を図り、児童生徒の自発的な学習活動を支援する。	授業が生きるブックトーク		演習	
食育研修講座		子ども達の生きる力の基礎となる「食育」の積極的な推進を図る。	心とからだを元気にする食育のすすめ	全教職員	講話	
小情報教育研修講座(1)(2)		情報教育についての理解を深め、教科等における情報活用能力育成をめざした実践的な指導力の向上を図る。	子どもたちの情報活用能力の育成 2回連続で受講すること	小学校教員	演習	
中・高情報活用推進研修講座			生徒の情報活用能力の育成	中学校 高校教員		
公開授業研修講座(1)～(16)	9月 ～ 11月	各教科の教育理論と実践の統合を図り、創造的な教育活動の指導力を高める。	研究授業及び研究協議	全教員	授業	○
マイスターによる公開授業研修講座(17)～(19)		見本となる授業とその研究協議を通して、個々の授業力や指導力を高める。	師範授業及び研究協議			○
視聴覚教材作成研修講座(1)(2)	夏季	視聴覚教材制作のための制作技法を習得し、教材作成に役立てる。	小学校学習用コンピュータを使ったビデオ編集 中学校学習用コンピュータを使ったビデオ編集	全教員	演習	
教育研究発表会	2/16	研究成果を発表し、学校・園及び関係機関での研究推進と教育実践の参考に資する。	教育総合センター研究発表会		発表	○

8 視聴覚センターの研修・普及事業

(1) 研修事業

◇16ミリ映写機操作技術講習会

目的	16ミリ映写機の基礎知識及び操作技術の習得を図る。
対象	18歳以上の市内在住・在学及び在勤者
回数	3回 平成21年7月15日(水)・8月19日(水)・11月18日(水)
内容	講話「16ミリフィルムと映写機」 映画「16ミリ映写機の原理と構造」 実技「16ミリ映写機の操作」

◇視聴覚室機器操作講習会

目的	視聴覚機器(教育総合センター視聴覚室)の操作技術の習得を図る。
対象	視聴覚センター利用希望者
回数	随時
内容	講話と演習「視聴覚機器の操作法」 音声-マイク、カセットレコーダー 映像-ビデオカメラ、データビューア、ビデオプロジェクター等

◇ビデオ編集機操作講習会

目的	ビデオ編集の基礎知識及びビデオ編集機の操作技術の習得を図る。
対象	学校・社会教育関係者
回数	随時
内容	講話「ビデオのダビングとビデオ編集の概要」 演習「ビデオ編集-アッセンブル編集-」

9 研修・研修講座分担一覽

種別	中分類	研修・研修講座名	内容・領域（例示）	所長	総括情報教育係長	研修担当係長	研修担当	研修担当	研修担当	研修担当	情報教育担当	情報教育担当	情報教育担当
				平垣	松田	大平	樋口	小原	鈴木	寺田	大濱	上原	藤井
受講しなければならない研修（基本研修）	職階に応じた研修	校・園長研修	学校経営課題（組織マネジメント）			○							
		新任校・園長研修	校長の職務						○				
		教頭研修	学校経営課題（教員の養成）							○			
		新任教頭研修	教頭の職務							○			
		新任管理職コンピュータ研修	AMA-NET・通信の基本管理等										○
		主幹教諭研修	リーダーとしての組織の活性化								○		
	職務に応じた研修	教務担当・教務主任研修	教務担当・教務主任の職務								○		
		研究主任研修	研究主任の職務						○				
		学年主任研修	学年主任の職務				○						
		外国語活動中核教員研修	外国語活動中核教員の職務							○			
		拠点校指導教員研修	拠点校指導教員の職務（初任者指導に向けた資質の向上）					○					
		安全主任研修	安全・防災				○						
養護教諭研修		健康管理				○							
教育用コンピュータ管理担当研修		教育用コンピュータシステムの管理と運用								○	○	○	
教職経験年数に応じた研修	1年目教員必修研修	第1回	尼崎の教育、AMA-NET活用、学級、地域を学ぶ（グループ別）						○				
		第2回	情報教育(1) 学習用コンピュータシステムの活用									○	
		第3回	尼崎養護学校体験						○				
		第4回	安全教育（AEDなど）、教科等指導（指導案作成）				○						
		第5回	人権教育、学級経営、指導力向上（グループ別）							○			
		第6回	環境教育、カウンセリング、教育相談、児童理解			○							
		第7回	接遇、地域を学ぶ（グループ別）				○						
		第8回	教科等指導（道徳）、教材づくり						○				
		第9回	防災教育（施設見学・体験）							○			
		第10回	生徒指導、社会体験報告会（職場体験フォーラム）								○		
		第11回	情報教育(2) ICTを活用した教材づくり									○	
		第12回	地域・保護者との連携、初任研のまとめ（グループ別）			○							
	ステップ・アップ研修（選択）	(1)	学校実務等							○			
		(2)	実技指導、食育の実践			○							
		(3)	授業設計1～4（指導案の作成）						○			○	
		(4)	指導実践発表と意見交換				○						
	2年目教員授業実践研修	公開授業の実施とマンツーマンの指導を伴う研修			○	○	○	○	○	○	○	○	
	4年目教員交流研修	異なる校・園種に行き、授業の参観と実践							○				
	5年目教員研修	共通研修（授業力・指導力向上）					○						
	10年経験者研修	共通研修（尼崎の今日的課題に取り組む）								○			
任意の11研修を選択（地域活動研修講座は必修）									○				
15年目教員研修	共通研修（若い教員への実践的な指導を行う）					○							
20年目教員研修	任意の研修を1つ選択					○							
	個人の自覚を元に任意の研修を2講座選択					○							
常勤の臨時講師研修	(1)	教員としての必要な知識や自覚								○			
	(2)	(1)を受講できなかった場合に受講								○			
管外転入教員研修	本市の教育課題とこれまでの取組								○				
今日的課題に対応した研修	人権教育研修講座	(1)	学級づくりと自尊感情						○				
		(2)	これからの人権教育の取組						○				
	一般教養研修講座	尼崎の企業経営者に学ぶ							○				
	地域活動研修講座	地域活動への参加・体験・貢献							○				
	学校飼育動物研修講座	小動物の扱い等についての留意点						○					
	校務の情報化研修講座	(1)	成績処理入門								○		
		(2)	校務の合理化入門								○		
	統計処理入門研修講座	統計処理・情報分析入門								○			
	プレゼンテーション入門研修講座	(1)	説明力向上・プレゼンテーション演習								○		
		(2)	2回連続で受講すること。								○		
	情報モラル・セキュリティ入門研修講座	(1)	情報モラル・セキュリティ入門								○		
		(2)	2回連続で受講すること。								○		
	情報システム活用研修講座	(1)										○	
		(2)	学校・園ホームページ作成、コンテンツマネージメントシステム（CMS）									○	
(3)		4回実施のうち、1つを受講する。									○		
(4)											○		
学校事務支援システム活用研修講座	学校事務支援システムの活用									○			
子どもの理解のため	カウンセリング基礎講座	(1)	カウンセリング入門研修					○					
		(2)	カウンセリングの基本的な演習					○					
	生徒指導研修講座	事例研究を通じた子ども理解							○				
	不登校児童生徒支援研修講座	不登校児童生徒の理解及び対応				○							
特別支援教育研修講座	(1)	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応				○							
	(2)	実践事例を通じた子ども理解				○							

種別	中分類	研修・研修講座名	内容・領域（例示）	所長	総括 情報教 育担当 係長	研修 担当 係長	研修 担当	研修 担当	研修 担当	研修 担当	情報 教育 担当	情報 教育 担当	情報 教育 担当			
				平垣	松田	大平	樋口	小原	鈴木	寺田	大濱	上原	藤井			
希望による研修（専門研修）	教科等の指導力向上をめざした研修	言語力向上研修講座	NIEを利用した言語活動の実践				○									
		道徳教育研修講座	(1) 「心のノート」を活用した道徳の時間の実践								○					
			(2) 道徳の授業及び研究協議									○				
		学級経営研修講座	心の通う学級づくり							○						
		国語科教育研修講座	(1) 「語彙力」を育てる指導法				○									
			(2) 「書くこと」で育つ学力				○									
		社会科教育研修講座	(1) 学力向上をめざした小学校社会の授業づくり							○						
			(2) 地域教材を使った中学校社会科教育							○						
		算数科教育研修講座	学力向上をめざした小中連携（小学校からの視点）								○					
		数学科教育研修講座	学力向上をめざした小中連携（中・高校からの視点）								○					
		理科教育研修講座	(1) 新学習指導要領に対応した小学校理科実験							○						
			(2) 演習を通して授業力向上をめざした中学校理科の授業づくり							○						
		生活科教育研修講座	科学的な見方、考え方を培う指導法「つくって遊ぼう」					○								
		幼児教育研修講座	(1) 子どもの発想を育てる描写指導					○								
			(2) 心を育てるリズム表現					○								
		音楽科教育研修講座	民謡や伝統音楽の指導法					○								
		図工・美術科教育研修講座	新学習指導要領に対応した実技指導									○				
		体育科教育研修講座	(1) 新学習指導要領に対応した小学校ボール運動									○				
			(2) 中学校武道「柔道」について									○				
		英語科教育研修講座	コミュニケーション能力を育成する中・高校の授業づくり								○					
		小学校外国語活動	(1) 歌やゲームの効果的な利用									○				
			(2) クラスルームイングリッシュの活用法									○				
		総合的学習研修講座	環境教育をテーマにした授業づくり								○					
		図書館教育研修講座	授業が生きるブックトーク					○								
		技術・家庭科教育研修講座	著作権など、授業で行う情報モラル教育									○				
		食育研修講座	心とからだを元気にする食育のすすめ						○							
		小情報教育研修講座	(1) 子どもたちの情報活用能力の育成										○			
			(2) 2回連続で受講すること。										○			
		中・高情報活用推進研修講座	生徒の情報活用能力を育てる中・高校情報教育												○	
		公開授業研修講座	(小学校)	(1)	1年目教員による公開授業及び研究協議						○					
				(2)							○					
				(3)								○				
				(4)								○				
			(中学校)	(5)	2年目教員による公開授業及び研究協議								○			
				(6)								○				
				(7)								○				
				(8)								○				
			(小学校)	(9)	3年目教員による公開授業及び研究協議							○				
				(10)								○				
				(11)								○				
				(12)								○				
			(中学校)	(13)	4年目教員による公開授業及び研究協議					○						
				(14)							○					
				(15)								○				
				(16)								○				
			マイスターによる公開 授業研修講座	(小学校)	(17)	マイスター教員による師範授業及び研究協議						○				
				(中学校)	(18)							○				
(19)											○					
視聴覚教材作成研修講座	(1)	小学校学習用コンピュータを使ったビデオ編集											○			
	(2)	中学校学習用コンピュータを使ったビデオ編集											○			
教育研究発表会		教育総合センター研究発表会		○												
特別 研修 に 実 施 す る	出 前 講 座	小学校コンピュータ特別研修	ぐんぐんのびる個別ドリルシステム													
		ホームページ作成研修	学校・園ホームページの作成													
		学級経営特別研修														
		授業づくり特別研修														
	臨 時 研 修	特別臨時研修	(1)	課題に対応した研修等(1)(2)			○									
(2)					○											

[資料] 文科省・県教委等が実施する研修講座等に参加して行う研修一覧

	研修名・講座名	対象
文部科学省 独立行政法 人教員研修 センターの 講座に参加 して行う研 修	中央研修講座	全校園種教員
	海外派遣研修	全校園種教員
	特別研修	全校園種教員
	教職員派遣研修(理科教育)	理科教育を担当する全校種教員
	教職員派遣研修(産業教育)	産業教育を担当する中・高等学校教員
県立特別支 援教育セン ターの講座 に参加して 行う研修	新任特別支援学級担当教員等研修	小・中学校の新任特別支援学級担当教員 及び新任通級指導担当教員
	基礎研修	特別支援学校及び幼・小・中・高等学校 教員
	実技研修	小・中学校の特別支援教育担当教員
	課題別研修	特別支援学校及び小・中学校の特別支援 教育担当教員
	学校訪問研修	小・中・特別支援学校教員
	自由研修	幼・小・中・特別支援・高等学校教員
	訪問研修	幼・小・中・特別支援・高等学校教員
県立教育研 修所の講座 に参加して 行う研修	一般研修	全校園種教員
	職務研修	全校園種教員
	自由研修	全校園種教員
県教委主催 の研修会等 に参加して 行う研修	学校経営研修講座(新任校長研修)	小・中・特別支援学校新任校長
	学校経営研修講座(新任教頭研修)	小・中・特別支援学校新任教頭
	阪神地区学校経営研究協議会	小・中・特別支援学校校長
	幼稚園経営研修会	幼稚園園長・教頭等
	初任者研修	幼・小・中・特別支援・高等学校初任者
	教職経験者研修(5年目)	平成17(2005)年度採用小・中・特別支援 学校教員
	5年・15年次高校教員研修講座	平成17(2005)・7(1995)年度採用高等学 校教員
	10年経験者研修	平成11(1999)年度採用小・中・特別支援 学校教員
	教職経験者(中堅教員)研修(15年目)	平成7(1995)年度採用小・中・特別支援 学校教員
	長期研修休業制度研修	小・中・特別支援・高等学校(県費)教員
	長期社会体験研修(チャレンジ研修)	小・中・特別支援・高等学校(県費)教員
	小学校教員人権教育研修会	小学校教員
	中・特別支援学校教員人権教育研修会	中・特別支援学校教員
	防災教育研修会	全校種防災教育担当教員
	運動部活動指導者研修会	運動部を指導している中・高等学校教員
	小学校教員体育実技研修会	小学校教員
	学校体育実技指導者講習会	中・特別支援・高等学校体育担当教員
	学校体育実技武道認定講習会	武道を指導している全校種教員
小学校教育課程研究集会	小学校教員	
中学校教育課程研究集会	中・特別支援学校教員	

10 平成20年度教職員研修報告

(ア) 基本研修

職階別研修

研修講座名	年	月	日	テーマ	講師等		
校・園長研修	20	6	18	講話「学習指導要領改訂のポイントと学校の今後」	京都ノートルダム女子大学	教授	加藤 明
教頭研修		11	10	講話「これからの教育の方向」 －新教育課程の編成及び実施に向けて－	文部科学省初等中等教育局	主任視学官	田中 孝一
2年目教頭派遣研修	夏季3日間			民間企業派遣研修	株式会社ダイエー（塚口・門戸厄神・甲子園店） 株式会社ホテル近鉄尼崎ホテルニューアルカイク コープこうべ（西宮・西宮北口・芦屋） 計7店舗		
管理職人権研修	20	7	7	講話「新学習指導要領を踏まえた、これからの人権教育のあり方」	播磨高原広域事務組合立播磨高原東中学校	元校長	有正 省三
学校マネジメント研修		10	30	講話及び演習「教職員のための心のケア」－職場でのメンタルヘルスを考える－	兵庫県こころのケアセンター	主任研究員	大澤 智子
		11	25	講話「アカウンタビリティに生かす学校ホームページ」	堺市立月州中学校	校長	金沢 正幸
新任校・園長研修		4	28	講話「新任校・園長に望む」	尼崎市教育委員会	教育長	保田 薫
新任教頭研修			30	講話「新任教頭に望む」			
新任管理職コンピュータ研修	11 14 16		演習「ネットワークを利用した校務処理」	教育総合センター	指導主事	藤井 健三郎	

職務別研修

研修講座名	年	月	日	テーマ	講師等		
教務主任研修	20	7	30	講話及び演習「新学習指導要領と移行措置について」	兵庫教育大学	非常勤講師	梅田 規誉
研究主任研修			23	講話「新学習指導要領と教育改革の方向を見通した校内研究のあり方」	大阪教育大学	教授	松本 勝信
学年経営研修		8	5	講話「これからの学年経営に求められるもの」	神戸女子短期大学	副学長	長瀬 荘一
学校安全推進研修		7	31	講話「今、学校に求められる安全指導」	わたや整形外科	医師	綿谷 茂樹
		11	27	講話「子どもの健康を守るために」－健康教育はよろこび－	愛媛大学	教授	山本 万喜雄
教育用コンピュータシステム管理研修		4	18	講話及び演習「教育用コンピュータシステムの管理と運用」	教育総合センター	指導主事	藤井 健三郎 大濱 洋治 上原 郁雄

経験年数別研修

研修講座名	年	月	日	テーマ	講師等			
1年目教員研修	20	7	29	講話「体罰と人権」	小田南中学校	校長	棚窪 哲司	
		11 12	25 2	講話及び体験「尼崎養護学校の一日」	尼崎養護学校教職員			
	通年			教育実践力向上、マンツーマン研修			9人	
ステップ・アップ研修	20	5	27	講話及び演習「学習用コンピュータシステムの活用」(武庫の里小学校)	教育総合センター	指導主事	米田 浩 大濱 洋治	
				講話及び演習「学習用コンピュータシステムの活用」(成良中学校)			上原 郁雄 藤井 健三郎	
	7	1	8	演習「救命法」(尼崎市北消防署)	尼崎市北消防署	救急担当者	4人	
				講話及び演習「授業デザイン入門と指導案作成の基礎」	教育総合センター	指導主事	小原 誠	
	20	29	29	講話「初任者教員に望むこと」 パネルディスカッション「この1学期で学んだこと」 講話「AMA-NETメールについて」	学校教育部 教育総合センター 教育総合センター	部長 指導主事 指導主事	徳田 耕造 福田 肇 藤井 健三郎	
				講話及び演習「学級経営に活かす教育相談」 講話「特別支援教育について」	教育相談課		西本 由美 是枝 周二	
	20	10	7	講話及び演習「授業設計入門」(上坂部小学校)	教育総合センター	指導主事	重信 親秀	
				講話及び演習「授業設計入門」(大庄北中学校)			福田 肇	
				講話及び演習「授業設計入門」(竹谷小学校)			小原 誠	
	21	1	13	講話及び演習「授業設計入門」(園田東中学校)	教育総合センター	指導主事	藤井 健三郎	
				演習「ICT活用のスキルアップ」 演習「効果的なプレゼンテーション」			米田 浩 大濱 洋治 藤井 健三郎 上原 郁雄	
	21	2	17	講話及び演習「子ども理解、保護者との連携」	教育総合センター	指導主事	重信 親秀	
				講話及び演習「実践研究の進め方・情報モラル」			福田 肇 米田 浩	
	2年目教員研修	20	8	18	講話及び演習「アサーションに必要な自己尊重とは？」-わたしもあなたも尊重するためのコミュニケーション-	心理カウンセラー		姫島 純子
	3年目教員研修		7	31	講話及び演習「男女共同参画をすすめるために」	尼崎市女性センター・トレピエ	所長	須田 和

研修講座名	年	月	日	テーマ	講師等		
4年目教員研修	20	7	24	講話「カンボジアの教育と人権」	園田中学校	元校長	中野 勝
	10月～2月			「異校園種交流研修」	55人の4年目教員が、それぞれの校区の幼稚園小学校・中学校における教育活動を参観及び体験		
1～4年目養護教員研修	20	8	27	講話及び演習「日々の保健指導」	園田中学校 学校保健課	養護教諭 指導主事	青木 加代子 廣井 尋美
20年目教員研修	通年			専門研修から2回受講			
管外転入教員研修	20	4	24	講話「尼崎の教育の現状と課題」	教育総合センター 教育相談課	所長 指導主事	平垣 新一 西本 由美

(イ) 専門研修

教職課題研修講座

研修講座名	年	月	日	テーマ	講師等		
人権教育研修講座	20	8	25	講話「これからの人権教育」－子どもを取り巻く状況から－	大阪大谷大学	教授	桜井 智恵子
			27	講話「夢の舞台 ワールドカップで得たもの」－努力と感謝－	大阪府立長野高等学校	教諭	廣嶋 禎数
			28	講話「命の尊さを実感させる教育への提言」	聖トマス大学	元教授	高木 慶子
一般教養研修講座	20	8	8	講話「尼崎の企業から学ぶ」－検電器でナンバーワンになろうやないか－	長谷川電機工業株式会社	社長	吉田 修
			18	講話「今、社会では」－日雇い労働者の町でのボランティア活動を通して－	ケースワーカー		入佐 明美
	21	1	27	講話及び演習「輝く自分になるために」－より良い人間関係を築く接遇マナーとコミュニケーション－	トータルマナー研究所	所長	河本 栄味子
社会体験研修講座	20	7	23～25	教員民間企業派遣研修	住友大阪セメント株式会社社員(赤穂市)		
			5～7	教員福祉施設派遣研修	たじかの園職員		
教育法規研修講座	20	7	28	講話「教職員のための法知識」－学校事故の予防と対応－	長野総合法律事務所	弁護士	峯本 耕治
表計算ソフト活用研修講座	20	8	27	演習「成績処理入門A班」－合計・平均・順位計算などの使い方－	教育総合センター	指導主事	上原 郁雄
27			演習「成績処理入門B班」－IF関数・検索関数などの活用－				
統計処理入門研修講座	20	7	31	演習「統計処理入門」	教育総合センター	指導主事	大濱 洋治
25			演習「プレゼンテーション入門A班」－効果的なプレゼンテーションを作ろう！－				
プレゼンテーション入門研修講座(1)	20	7	25	演習「プレゼンテーション入門B班」－効果的なプレゼンテーションを作ろう！－	教育総合センター	指導主事	大濱 洋治
25			演習「プレゼンテーション入門A班」－効果的なプレゼンテーションを作ろう！－				

研修講座名	年	月	日	テーマ	講師等							
プレゼンテーション入門研修講座(2)	20	7	30	演習「プレゼンテーション入門A班」－効果的なプレゼンテーションを作ろう！－	教育総合センター	指導主事	大濱 洋治					
演習「プレゼンテーション入門B班」－効果的なプレゼンテーションを作ろう！－				藤井 健三郎								
情報管理・データベース入門研修講座		8	22				演習「情報管理・データベース入門」－データベースの基礎の基本－	教育総合センター	指導主事	藤井 健三郎		
情報モラル・セキュリティ入門研修講座(A班)				7			24				演習「学校における情報モラルとセキュリティ(1)」－新学習指導要領における情報モラル教育－	米田 浩
演習「学校における情報モラルとセキュリティ(2)」－学校全体で取り組む情報セキュリティ－												
情報モラル・セキュリティ入門研修講座(B班)		28	演習「学校における情報モラルとセキュリティ(1)」－新学習指導要領における情報モラル教育－									
演習「学校における情報モラルとセキュリティ(2)」－学校全体で取り組む情報セキュリティ－												
事務の合理化研修講座		8	5	講話「ファイル管理とセキュリティ」			株式会社JMCエデュケーションズ			販売推進課	杉村 智恵子	
情報システム活用研修講座(1)				7			演習「学校園ホームページによる適切な情報発信(A班)」－学校ホームページで何を発信するの－			教育総合センター	指導主事	米田 浩
演習「学校園ホームページによる適切な情報発信(B班)」－学校ホームページで何を発信するの－												
情報システム活用研修講座(2)	8	演習「学校園ホームページによる適切な情報発信(A班)」－学校ホームページで情報を発信しよう－	演習「学校園ホームページによる適切な情報発信(B班)」－学校ホームページで情報を発信しよう－									
学校事務支援システム活用研修講座		21		3	6	演習「学校事務支援システムの活用(A班)」	日本ビジネスコンピューター株式会社			SI事業部第2グループリーダー	藤木 利轄	
演習「学校事務支援システムの活用(B班)」												
演習「学校事務支援システムの活用(C班)」												

教育相談研修講座

研修講座名	年	月	日	テーマ	講師等		
カウンセリング基礎講座(1)(2)	20	7	22	講話「カウンセリング入門」－子どもたちを理解し心豊かに育てるために－	予防医学心理学研究室	臨床心理士	岡寄 順子
				講話及び演習「音楽療法とカウンセリング」	大阪音楽大学	講師	後藤 浩子
生徒指導研修講座		8	20	講話「体罰・虐待が子どもに与える影響を考える」	龍谷大学	教授	森田 喜治
不登校児童生徒支援研修講座	8			20	講話「不登校への理解とこれからの支援のあり方」－必ず子どもはよくなる－	元上坂部小学校教諭 不登校指導員	両親教育インストラクター

研修講座名	年	月	日	テーマ	講師等		
特別支援教育研修講座(1)(2)	20	8	8	講話「発達障害のある子どもたちの理解と支援」-その特性をふまえた関わり方-	あおぞら生協クリニック	発達相談室長	古川 和子
			22	講話「学校・園に求められる特別支援とは」-学習支援を中心に-	大阪府立大学	准教授	里見 恵子

授業力向上研修講座

研修講座名	年	月	日	テーマ	講師等			
道徳教育研修講座	21	1	19	講話「新学習指導要領における授業作りのポイント」	兵庫教育大学大学院	准教授	淀澤 勝治	
学級経営研修講座	20	8	29	講話「これからの学級経営に求められるもの」	大阪教育大学	教授	久田 敏彦	
国際理解教育研修講座	21	2	16	講話及び演習「多文化共生とコミュニケーション」	神戸大学留学センター	教授	水野 マリ子	
福祉教育研修講座	20	7	30	講話「学校教育においてボランティア教育をどのように進めるか」-ボランティア活動の事例を通して-	大阪大学大学院	准教授	渥美 公秀	
環境教育研修講座			8	4	工場見学及び講話「古紙のリサイクルについて知る」	西日本衛材株式会社社員(たつの市)		
キャリア教育研修講座				29	講話「小中高一貫したキャリア教育の必要性」-大阪府立高校での実践を通してみてきたもの-	理財サポートオフィス	代表取締役	嶋野 美知子
国語科教育研修講座(1)(2)(3)			7	30	講話「活用力を育てる国語科教育」-子どもが変わる3つの事例-	七松小学校	教諭	桑野 光枝
				31	講話「伝え合う力の育成とその日常化」	奈良教育大学	教授	松川利広
社会科教育研修講座	8	7	講話「PISA型読解力を育む説明文の指導」	神戸親和女子大学	教授	櫻本 明美		
		19	講話及び演習「社会科授業づくりで大切なもの」-資料・教材でかわる社会科の授業-	学校教育課 歴博・文化財担当	指導主事 学芸員 職員	木戸 恒徳 楞野 一裕 高梨 政大		
算数・数学科教育研修講座	20	6	27	マイスター教員による研究授業及び研究協議(武庫北小学校 中野 譲教諭)	武庫北小学校 常陽中学校	校長	大川泰三 田中誠一	
	21	1	28	講話「新学習指導要領と算数・数学から始める小中連携」-15歳の学力に責任を持つとは-	京都産業大学	准教授	牛瀧 文宏	
理科実験安全研修講座	20	7	8	演習「実験器具の基礎的な取り扱い方」-実験を通して、安全に指導する知識を-	教育総合センター	指導主事	藤井 健三郎	
			30	演習「新学習指導要領おもしろ実験」	尼崎北小学校	教諭	中田 眞一	
理科教育研修講座	8	18	講話及び演習「使ってみよう宇宙の教材」-新しい学習指導要領に対応した教材演習-	JAXA宇宙教育センター 全国中学校理科教育研究会	顧問 顧問	宮原 有香 遠藤 純夫		
生活科教育研修講座	7	28	講話及び演習「生活科に生かすおもちゃづくり」	神戸市立糺台小学校	元校長 おもちゃづくり博士	齋藤 賢之輔		

研修講座名	年	月	日	テーマ	講師等			
幼児教育研修講座	20	8	5	講話「身体と音楽を使って楽しもう」	奈良文化女子短期大学	教授 准教授 講師	青山 雅哉 小川 純子 林 悠子	
			27	講話「子どもたちと絵本の扉をひらく」－未来に生きる子どもたちに、絵本を通して伝えたいこと－	聖和大学	教授	正置 友子	
音楽科教育研修講座		7	23	講話及び演習「ここが変わった！新学習指導要領」－すぐに役に立つ音楽授業のアイデア－	和歌山大学教育学部附属小学校	教諭	江田 司	
図工・美術科教育研修講座		8	28	講話及び演習「一人ひとりの思いが広がる題材と指導の工夫」－学習指導要領の改訂を視野に－	関西国際大学	教授	板良敷 敏	
体育科教育研修講座		6	20	演習「体育大会に使えるリズム体操」	尼崎市スポーツ振興事業団 2人 (於：北難波小学校体育館)			
		7	1	演習「泳法指導」	尼崎市スポーツ振興事業団 2人 (於：尼崎高校室内プール)			
英語科教育研修講座		23	講話及び演習「英語の運用力を育成する授業づくり」－Teacher Talkの活用－	姫路市立豊富中学校	教諭	稲岡 章代		
小学校外国語活動研修講座		5	講話及び演習「基礎学力をつける授業づくり」	関西大学	教授	静 哲人		
		12	講話・演習「小学校英語活動の指導内容と指導法について」－1時間の授業の組み立て方を通して－	兵庫教育大学	准教授	吉田 達弘		
総合的な学習研修講座		8	4	講話及び演習「ICTを活用した総合的な学習の時間(1)」－学習プラン作りと情報収集－	杭瀬小学校 教育総合センター	教諭 指導主事	久下 愛美 大濱 洋治	
			4	講話及び演習「ICTを活用した総合的な学習の時間(2)」－資料作りとプレゼンテーション－				
			7	講話「総合的な学習の時間に何を求めるか」－総合的な学習の時間を活用した食育－	神戸大学	名誉教授	保田 茂	
図書館教育研修講座		7	24	講話「読書と子どもたちをつなぐ」	灘中学校・灘高等学校	司書教諭	狩野 ゆき	
技術・家庭科教育研修講座		21	1	27	講話及び演習「企業が取り組むものづくり教育」	シャープ(株)CSR推進本部	社会貢献推進室主事	岡田 淳
食育研修講座		20	8	4	講話「心とからだを元気にする食育のススメ」	神戸女子短期大学	准教授	平野 直美
20				講話及び演習「子どもたちの情報活用能力を育成しよう(1)」－具体的な指導事例を調べよう－	教育総合センター	指導主事	大濱 洋治	
				講話及び演習「子どもたちの情報活用能力を育成しよう(2)」－指導案を考えよう－				
中・高情報活用推進研修講座					講話及び演習「実践事例に学ぶ情報活用」－ネット社会の7つの常識－	株式会社NTTドコモ関西支社	社会環境室 ケータイ安全教室講師	竹内 透 宮重 聖美

研修講座名	年	月	日	テーマ	講師等			
公開授業研修講座	20	10	7	研究授業及び研究協議 1年目教員による授業(算数) (上坂部小学校 足立 知美教諭)	教育総合センター	指導主事	大濱 洋治	
				研究授業及び研究協議 1年目教員による授業(数学) (大庄北中学校 窪野 春生教諭)			鈴木 美臣	
			10	21			研究授業及び研究協議 1年目教員による授業(算数) (竹谷小学校 児玉 麻美教諭)	藤本 吉将
							11	4
		9	17	研究授業及び研究協議 2年目教員による授業(国語) (大庄中学校 南口 久美教諭)	武庫中学校	校長	木村 啓子	
		10	7	研究授業及び研究協議 2年目教員による授業(算数) (大島小学校 松岡 由佳子教諭)	教育総合センター	指導主事	小原 誠	
				16			研究授業及び研究協議 2年目教員による授業(国語) (立花南小学校 久下 早紀教諭)	米田 浩
		11	17	研究授業及び研究協議 2年目教員による授業(英語) (成良中学校 五百旗頭 真智子教諭)	小田北中学校	校長	尾崎 一郎	
		9	19	研究授業及び研究協議 3年目教員による授業(社会) (南武庫之荘中学校 尾ノ内 潤教諭)	教育総合センター	指導主事	福田 肇	
		11	5	研究授業及び研究協議 3年目教員による授業(国語) (潮小学校 吉永 沙津貴教諭)			小原 誠	
		12	1	研究授業及び研究協議 3年目教員による授業(英語) (園田中学校 森 葉子教諭)	大成中学校	教頭	尾知山 光郎	
		21	2	5	研究授業及び研究協議 3年目教員による授業(国語) (園田東小学校 藤本 哲也教諭)	教育総合センター	指導主事	藤本 吉将
		9	25	研究授業及び研究協議 4年目教員による授業(数学) (小園中学校 藤井 俊史教諭)	鈴木 美臣			
		20	11	6	研究授業及び研究協議 4年目教員による授業(道徳) (大庄小学校 由良 健一教諭)	大庄小学校	教頭	玉田 成子
					12	11	研究授業及び研究協議 4年目教員による授業(体育) (武庫庄小学校 野川 啓教諭)	教育総合センター
21	1						30	研究授業及び研究協議 4年目教員による授業(国語) (武庫東中学校 市田 直大教諭)
授業設計研修講座	20	5	27	講話及び演習「ICTを活用した指導案作成演習」(小学校)	教育総合センター	指導主事	大濱 洋治 米田 浩	
				講話及び演習「学習用コンピュータを使った授業づくり」(中学校)			上原 郁雄 藤井 健三郎	
	21	1	13	演習「ICTを活用した授業づくり」(小学校)			大濱 洋治 米田 浩	
				演習「ICTを活用した授業づくり」(中学校)			上原 郁雄 藤井 健三郎	

研修講座名	年	月	日	テーマ	講師等		
視聴覚教材作成研修講座	20	8	19	演習「動画を使った教材作成(2)」動画とプレゼンのマッチング！(A班)	教育総合センター	指導主事	米田 浩
			25	演習「動画を使った教材作成(1)」デジタルビデオをキャプチャーしよう！(B班)			
			25	演習「動画を使った教材作成(2)」動画とプレゼンのマッチング！(B班)			
教育研究・教材開発講座	5	5	19	講話「質の高い学力を求めて」	京都大学大学院	教授	田中 耕治
	21	2	17	教育総合センター研究発表会 全体会 講話「学校を基盤とする学力向上アプローチ」(木原俊行) 分科会 4分科会場で8研究部会の発表	大阪教育大学 兵庫教育大学大学院 目白大学	教授	木原 俊行 堀江 祐爾 原 克彦

基礎学力 向上対策研修講座

研修講座名	年	月	日	テーマ	講師等		
学力向上対策演習講座	20	8	18	講話「基礎学力向上への具体的な方法」－新学習指導要領をふまえたこれからの学習指導－	立命館大学	教授	陰山 英男
			25	講話「基礎学力向上への具体的な方法」－陰山メソッドの実践から－	京都市立勸修小学校	教諭	桑名 良幸

トワイライト自主研修講座

研修講座名	年	月	日	テーマ	講師等					
トワイライト自主研修講座	20	6	19	AMA-NE Tメール	教育総合センター	指導主事	藤井 健三郎			
			26	学級づくりに活かす教育相談	教育相談課		西本 由美			
		7	10	学級づくりに活かすワークショップ	教育総合センター		米田 浩			
		9	11	ホームページビルダーで作るプレゼンテーション			上原 郁雄			
			25	歴史上の人物エピソードを探ろう！			福田 肇			
		10	9	学校で使える小ネタ			小原 誠			
			23	小学校理科におけるICT機器の活用			大濱 洋治			
		11	6	小学校算数における単元のまとめの方法			重信 親秀			
			13	楽しい理科実験(生物)			立花中学校	教諭	松島 修	
			20	楽しい理科実験(電気)						
		12	4	27			若い先生のための学校実務(法律入門)	教育総合センター	指導主事	藤本 吉将
				4			教育行政における教育総合センターの役割			所長

11 平成20年度教育研究部会の概要報告

開 発 的 な 教 育 相 談

— 児童生徒の発達段階に応じた人間関係づくり —

指導主事	荒 木 伸 子
研究員	平 岩 裕 美 (梅 香 小)
”	片 山 亮 (尼 崎 北 小)
”	若 田 裕 美 (武 庫 東 小)
”	西 村 純 一 (南武庫之荘中)
”	森 葉 子 (園 田 中)

【内容の要約】

近年、自己と他者の関係において、自らを表現することが苦手な児童生徒が増え、人間関係を築く力の弱さが指摘されている。孤独感や疎外感を深める児童生徒が少ないことを憂慮しなければならない状況である。

そこで、本部会では、学級集団におけるよりよい人間関係づくりをめざして、一人一人を大切にしながらすべての児童生徒を対象に行うことができるカウンセリングの手法も取り入れ、集団の質を高める研究に取り組む。1年目の昨年度は、理論を学び、小学校、中学校の発達段階に応じた実践も試みた。そして、2年目の今年度は、児童生徒の心のありようを捉え、授業研究も行い、変化を評価・分析する。

確 かな 言 葉 の 力 を 育 て る 指 導 の 研 究

— 伝え合う力の育成をめざして—

指導主事	藤 本 吉 将
研究員	島 田 佳 幸 (成 文 小)
”	永 所 孝 章 (成 徳 小)
”	森 戸 寛 子 (浜 田 小)
”	西 尾 鮎 子 (立花西小)
”	江 形 拓 也 (尼 崎 北 小)
”	松 野 冴 子 (武 庫 東 小)

【内容の要約】

本年度の研究は、昨年度の継続研究である。昨年度の研究を継続しつつ、新たな課題として「伝え合う力」の向上、「対話・話し合い活動」の充実に向けた取り組みを研究テーマとした。部会では、伝え合う力を「自分の考えを持ち、相手の身になって考え、筋道を通して相手にわかりやすく意見を述べる力、相手が自分に伝えたいことを考えながら話の内容を聞き取れる力」と考え、伝え合う相手や内容、場面などの設定を工夫することにより「対話・話し合い活動」も高まると考え、手だて・指導等の

実践を追究した。

算数・数学の基礎学力向上をめざして

－ 一枚ポートフォリオ評価を活用して子どもを捉える －

指導主事	鈴木美臣
研究員	西村純（名和小）
〃	白井美歌（武庫東小）
〃	栗川由佳里（尼崎北小）
〃	真殿康正（南武庫之荘中）

【内容の要約】

子どもの能力や可能性を伸ばすことは、私たちに与えられた使命であることは言うまでもないが、教師がそれを実感する場面は意外に少ない。子どもの能力や可能性を伸ばすためには、指導者と学習者である子ども自身が理解の状態を知るところから始まる。

そこで、研究の方向として、ひとりひとりの学力がどのように身に付いているのか、一枚ポートフォリオ評価を活用して子どもの成長を把握し、それを授業改善に活かしていくことで指導と評価の一体化をめざす。

本年度については、子どもが身に付けた学力を効果的に把握する方法に重点を置き、研究をすすめることにした。

科学的思考力を育む指導の研究

－ PISA型読解力をキーワードにした理科指導 －

指導主事	藤井健三郎
研究員	行本憲司（名和小）
〃	堀祐輔（武庫東小）
〃	民谷英実（中央中）
〃	太田和樹（大庄北中）

【内容の要約】

「実験の考察が書けない」といわれることがある。そこで、PISA型読解力の視点をもつことで、科学的思考力を育むことができないかという課題について研究を行った。昨年度に引き続きPISA型読解力をキーワードにした授業実践を行い、検討していくことにした。

小学校外国語活動におけるコミュニケーション 能力の素地を養う授業のあり方を探る

指導主事	重 信 親 秀
研 究 員	福 井 聡 介 (尼崎北小)
〃	柴 原 沙 知 (武庫東小)
〃	相 方 伸 二 (園 和 小)

【内容の要約】

昨年の3月に告示された新学習指導要領において小学校外国語活動の必修化が明記された。本年度、小学校外国語活動の目標をもとに以下の3点を重点項目とし、研究を進めた。

- 1 コミュニケーション能力の素地を養うことについて理解を深める
- 2 外国語活動の授業において必要な要素をあらい出す
- 3 授業実践を行う

個別ドリルシステムの効果的な活用について

指導主事	大 濱 洋 治
研 究 員	久 下 愛 美 (杭瀬小)
〃	平 井 伸 子 (金楽寺小)
〃	瀧 本 晋 作 (塚口小)
〃	森 井 崇 (武庫東小)
〃	浅 尾 大 佑 (武庫庄小)

【内容の要約】

平成19年度、児童の学力を向上させるために導入した「ぐんぐんのびる個別ドリルシステム」の活用方法を探りながら、システムの内容をより充実させるとともに、さらに効果的な活用方法について、その成果と照らし合わせながら検証する。

デジタルコンテンツを活用した効果的な指導方法の研究

指導主事	小原 誠
研究員	浅田 宗良 (大島小)
〃	松本 明美 (立花小)
〃	伊藤 寧 (立花西小)
〃	上川 賢郎 (武庫東小)

【内容の要約】

平成20年3月に新学習指導要領の告知がなされ、平成21年度から移行措置に入り、小学校は23年度、中学校は24年度全面実施となる。

新学習指導要領においては、総則や各教科等において、教育の情報化やICT活用が盛り込まれている。この改訂により、情報教育やICT活用など、学校における教育の情報化について一層の充実が図られることとなる。

また、新学習指導要領に記述された情報教育に関するいくつかの能力を児童生徒に身に付けさせるには、教員の情報教育に関する正しい理解が必要なだけでなく、各教科等との関連や効果的なICTの活用方法、さらには授業実践力などが必要となってくる。

こうした状況の中、本研究部会では、学習手段としてのICT活用という面を重視し、昨年度からの研究をさらに発展させる形で、様々な教科等でのデジタルコンテンツの活用や新たなデジタルコンテンツの開発等を行っていく。そして有用性や汎用性を実際の授業を通して考察を行う実践研究を進めることにした

公立学校の社会的存在と地域連携に関する考察

指導主事	上原 郁雄
研究員	比嘉 勲 (小田南中)
〃	福田 知浩 (立花中)
〃	橋本 武史 (中央中)
〃	中島 将雄 (園田中)
〃	藤井 俊史 (小園中)

【内容の要約】

学校・地域の連携から

- 1 学校を取り巻く状況について、先行文献及び2006年3月に文部科学省が発表した義務教育諸学校における学校評価ガイドラインをもとに考察した。
- 2 地域の教育力について学校との関係が全てにおいてメリットがあるものではなく、パターンにより異なるのではないかという前提で考察をした。
- 3 学校と地域相互のメリットでの連携について簡単なモデルの考察をし、検証のための仮定とした。

12 平成20年度視聴覚センター事業報告

(1) 研修事業報告

16ミリ映写機操作技術講習会

(参加人数 17人)

月	日	テーマ
7	16	演習「16ミリ映写機の操作法」
8	20	演習「16ミリ映写機の操作法」
11	19	演習「16ミリ映写機の操作法」

(2) 普及事業報告

児童・生徒のアナウンス教室

(参加人数 28人)

月	日	テーマ
8	1	演習「きれいな発声を身につけよう！」
8	1	演習「アナウンサーになりきろう！」

(3) 視聴覚室機器及びビデオ編集機利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
視聴覚室	11	13	11	5	1	3	4	5	10	6	14	9	92
ビデオ編集	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	3
計	11	13	11	6	1	3	5	5	10	6	14	10	95

(随時講習も含む)

(4) 視聴覚ライブラリー利用状況

	受付 件数		16ミリ 映写機	スライド 映写機	OHP	スクリーン	暗幕	16ミリ フィルム	ビデオ テープ	スライド フィルム	TP
学校関係	31	内 訳	0	0	1	1	0	0	55	0	7
公共団体	38		5	3	1	3	53	12	28	0	1
その他団体	28		6	5	6	8	10	23	18	0	0
個人	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	97		11	8	8	12	63	35	101	0	8

学校関係 : 公私立の幼稚園・小・中・高等学校・大学等

公共団体 : 学校以外の公共機関・児童館・児童ホーム・保育所等

その他の団体 : 育友会・子ども会・地域団体・老人会等

個人 : 個人登録者

13 平成20年度教科書センター事業報告

1 常時展示	開館時間	平日9:00～21:00（但し、土曜日、日曜日は閉館）
	展示教科書	小学校 昭和40年以降の教科書 中学校 昭和37年以降の教科書 高等学校 昭和54年以降の教科書
	その他	学校教育法附則第9条に基づく教科書
2 法定展示	展示期間	平成20年6月20日～平成20年7月9日 （但し、土曜日、日曜日は閉館）
	展示教科書	平成17年度～平成20年度使用小学校用教科書 平成18年度～平成21年度使用中学校用教科書 平成21年度使用高等学校用教科書
	その他	学校教育法附則第9条に基づく教科書

6 教育情報の収集・整理事業報告

1 各種教育資料の収集（保有数）	
・ 教育関係図書	10,138冊
・ 教育関係資料（研究紀要・報告書）	7,058冊
・ 逐次刊行物	
雑誌収集	19タイトル
新聞収集	2タイトル
2 教育広報活動	
・ 「教育総合センターだより」 （平成20年5月、9月、12月、平成21年3月の年4回発行）	No. 108 ～ No. 111
・ 「教育あまがさき」 （平成20年10月、平成21年3月の年2回発行）	第62号 ～ 第63号
3 各種刊行物の発行	
・ 教育研究報告書	紀要 46号

[資料]

平成20年度各校・園に依頼した研修への要望等
についてのアンケートのまとめ

- 1 目的 学校・園の研修に対するニーズを把握し、本市の研修体系見直しに反映させる。
- 2 実施時期 平成21年3月初旬
- 3 対象 市内の幼稚園・小学校・中学校・高等学校 86校・園
- 4 要望等（原文を集約したもの）

設問3 初任者研修への意見や要望

内容に関すること

- ・マイスター教員などの授業を参観する研修
- ・授業などに活用できる実践的な研修
- ・礼儀や心構えの徹底をテーマにした研修
- ・児童生徒や保護者対応に関する研修
- ・接遇に関する研修
- ・使命感を持たせる研修
- ・尼崎市の魅力を知ることのできる研修

運営や事務等に関すること

- ・初任者研修の日程を早めに連絡
- ・社会体験研修の実施日数を増やす
- ・先輩教員の指導内容を報告させる研修などOJTを意図的にリードする企画
- ・できるだけ早い時期に(4月中に)指導担当の指導主事を中心にした初任者のグループの形成をつくり、グループ内での情報交換やアイデア交換、悩みや不満を話し合える空間を用意。そのうえでの「マンツーマン研修」の実施。

設問4 職階・職務別研修、経験年数別研修について意見や要望

内容に関すること

- ・助教諭への実践的な研修（幼稚園）
- ・臨時講師への研修
- ・若手教員には、日ごろの実践や課題解決の方法などを交流する研修
- ・実践的な研修
- ・教頭への法令や実務に関する研修
- ・ミドルリーダー育成を目的にした研修
- ・進路に関する研修（高校）

運営や事務等に関すること

- ・職階別研修は午後に実施（幼稚園）
- ・管理職に対する研修は、校長会や教頭会の役員と事前に意見交換会を開催
- ・経験豊富な校長を講師にする
- ・ミドルリーダーの育成を目的に、充実した取り組みを行っている主任クラスを講師にする
- ・教務主任研修の名称変更
- ・研修後、研修内容を教育総合センターだよりに掲載
- ・OJTに結びつく研修の企画

- ・職階別研修では、受講者にレポートの提出を求める

設問5 専門研修について意見や要望

内容に関すること

- ・幼児の内面理解、特別支援学級児の理解と指導、植物や動物の話、音楽リズム、保護者との関わり、虐待対応、幼小連携、今日的課題に関する研修（幼稚園）
- ・幼小中連携、外国語活動、ICT活用、算数的活動、食育、学級経営、授業評価、発達障害のある児童への対応、体育実技、保護者対応、今日的課題、学校全体の英語教育のレベルアップに関する研修（小学校）
- ・特別支援コーディネーター、道徳教育推進教師、食育を推進する教員の養成を目的とした研修
- ・柔道に関する研修（中学校）
- ・生徒指導上における法的根拠に関する研修

運営や事務等に関すること

- ・多様な教育プログラムを持つ研究団体からの講師の招聘
- ・教科研究会やマイスター認定者との連携
- ・研修後、研修した内容をどのように生かすか管理職と連携
- ・研修後とっているアンケートの活用
- ・校内での教科研究の方向づくり（中学校）
- ・課業中の研修は授業研究のみ

設問6 平成21年度予定の校・園内研修に関する教育総合センターの研修への要望

内容に関すること

- ・子育て、親子活動、感性、安全対策の工夫、表現力を高める指導、ことばの発達の道筋、親と子が共に育つ幼稚園教育に関する研修（幼稚園）
- ・音読、群読を取り入れた効果的な授業、新学習指導要領に対応した体育科の授業、書くことを生かした効果的な指導方法、モジュール授業、小学校外国語活動、食育、算数の実践家、いじめ、不登校、学級づくり、授業づくり、地域との連携の実践事例、学習規律の指導、そろばん指導、マット運動、跳び箱運動、水泳指導、法律、環境体験学習の進め方に関する研修（小学校）
- ・発達障害に関する演習、接遇、保護者対応、単元テストづくり、朝学習、補習、家庭学習、小中連携に関する研修（中学校）
- ・特別支援コーディネーターに役立つ研修

運営や事務等に関すること

- ・教材開発を望む
- ・夏季の午後の研修を13時～15時30分にして欲しい
- ・終業時刻が16時45分の学校があり、研修は16時45分までに終了
- ・夏季は勤務時間の関係で、午前午後各3時間で設定
- ・人権研修の申込は学校名だけで良いのではないか
- ・センター職員も学校訪問して情報を取り入れる
- ・教員をめざす大学生への研修
- ・校内研修の企画をセンターが行う
- ・センター的機能のある尼崎養護学校の校内研修に、教員の参加を促す
- ・自主的な研修グループの育成
- ・研修評価の実施
- ・講師として中堅、ベテラン、校長の活用

(様式3)

第 号
平成 年 月 日

教育総合センター所長 あて

校・園 名
校・園長名 印

欠 席 届

みだしのことについて、次のとおり届けます。

- 1 研修・研修講座名 _____

- 2 研修実施日 平成 年 月 日 ()

- 3 対象者名 _____

- 4 欠席理由 _____

以 上

(様式4)

第 号
平成 年 月 日

兵庫県教育委員会
阪神南教育事務所長 様

校 名
校長名 印

欠 席 届

みだしのことについて、次のとおり届け出ます。

- 1 研 修 名 _____

- 2 研 修 実 施 日 平成 年 月 日 ()

- 3 欠席者の職名・氏名
職名 _____
氏名 _____

- 4 欠 席 理 由 _____

以 上

(様式5)

平成 年 月 日

県立教育研修所長 様

学校名 _____

校長名 _____

職
印

欠 席 届

平成21年度現職教育研修講座を下記により欠席しますので届け出ます。

記

講座番号		
講座名		
欠席期日	平成 年 月 日 () ~ 平成 年 月 日 ()	
期 間	() 日間	
欠席者	職名	
	氏名	
欠席理由	区分	公務のため・私用のため・その他
	(理由を記入してください)	

欠席届は、県立教育研修所長あて直送してください。

【教育相談担当】

1 教育相談課の運営方針

○ はじめに

昨年秋以降の経済の急激な悪化は、子どもたちの生活環境や人間関係に少なからず影響を与えております。子どもたちの心身の発達の支援と特別支援教育の推進は、将来を担う子どもたちへの私たちの責務であると考えております。

今年度も、教育相談担当のスタッフ13名は、私たちの町尼崎で、子どもたちが心身共に健やかに育ってくれることを願い、子どもや家庭、学校への支援の立場で充実した対応を図っていきたいと考えております。

○ 組織及び事業の概要

教育相談担当課には、面接相談・電話相談を中心とした教育相談担当と、就学指導・特別支援学級・尼崎養護学校等を支援する特別支援教育担当の2つの係があります。

○ 事業の内容と運営方針

<教育相談担当>

(1) 教育相談事業

面接相談、電話相談、出張相談等により、園児児童生徒の望ましい発達を支援します。心療内科医による直接相談もあります。

(2) 高等学校カウンセラー派遣事業

市立高等学校にカウンセラーを派遣し、教職員の研修や心の悩みを持つ生徒及びその保護者の面接相談等を実施します。

(3) スクールカウンセラー配置事業

県が、全中学校及び一部の小学校にスクールカウンセラーを配置します。通学区域の小学校も活用できます。

<特別支援教育担当>

(1) 尼崎市立学校・園における特別支援教育の指導・助言

(2) 介助員配置事業

多動性等児童生徒もしくは肢体不自由児童生徒が複数在籍している特別支援学級に生活介助員を配置します。また、肢体不自由児童生徒のプール指導時にも、介助員を配置します。

(3) 看護師等配置事業

日常的に医療行為の必要な児童生徒が参加する宿泊を伴う校外行事に看護師を配置します。

(4) スクールバス運転業務事業

尼崎養護学校児童生徒の通学時の安全確保に、スクールバス4台で運転業務を行います。

(5) 就学指導事業

尼崎市障害児就学指導委員会を設置し、障害のある児童生徒の義務教育諸学校への適正な就学のため調査審議します。

(6) 合同宿泊訓練推進事業

特別支援学級在籍の児童生徒が、夏季休業中、小・中学校の校種別に合同で1泊2日の宿泊訓練を行います。

(7) 心の教育特別支援員配置事業

心の教育特別支援員20名を配置し、LD・ADHD等の子どもへの学習面・行動面での指導を支援します。

(8) 心の教育ボランティア配置事業

心の教育ボランティアを配置し、LD・ADHD等の子どもへの行動面での指導を支援します。

2 教育相談担当の主な事業概要

		事業名	事業内容	事業の概要
教育相談担当	教育相談	教育相談事業	面接相談	相談員及びカウンセラーによる面接相談(予約制)
			電話相談	相談員による電話相談
			心療内科医による教育相談	心療内科医による直接相談
			出張相談	学校・園等に出向いての研修の講師や児童生徒園児の観察及び指導助言
		高等学校カウンセラー派遣事業		市立高校5校へカウンセラーを派遣し、研修や面接相談の実施
		スクールカウンセラー配置事業		県が配置するスクールカウンセラーとの連絡調整や指導助言
		調査研究事業	教育相談研究部会	研究員を募り、教育相談に関する研究を行い、市内学校・園へ研究成果の報告
	特別支援教育	介助員配置事業	生活介助員等の配置	多動性や肢体不自由をもつ児童生徒が複数在籍する特別支援学級へ介助員を配置する
		看護師等配置事業	宿泊を伴う校外行事看護師を配置	日常的に医療行為の必要な児童生徒が、泊を伴う校外行事に参加する場合に看護師を配置する
		スクールバス運転業務事業	尼崎養護学校児童生徒通学安全確保	尼崎養護学校児童生徒の通学安全確保のためスクールバスの運転業務委託を行う
就学指導		就学指導委員会による就学調査審議	特別な支援を必要とする児童および生徒の義務教育諸学校への適正な就学指導を行う	
合同宿泊訓練推進事業		特別支援学級の児童生徒宿泊訓練	夏季休業中に小・中学校の校種別に合同で1泊2日の合宿訓練を行う	
心の教育特別支援員配置事業		心の教育特別支援員の配置	LD・ADHD等特別な支援を要する幼児児童生徒が在籍する学校園へ支援員を配置し、学習活動や学級経営を支援する。	
心の教育ボランティア配置事業		心の教育ボランティアの配置	LD・ADHD等特別な支援を要する幼児児童生徒が在籍する学校園へボランティアを配置し、行動面での支援学習活動や学級経営を援助する。	

3 組織・事務分掌表

平成21年4月1日現在

教育相談担当課長		長岡 文晴
教育相談担当		
※教育相談（面接、出張） ※高等学校カウンセラー派遣事業 ※電話相談 ※心療内科医による教育相談 ※スクールカウンセラー配置事業 ※教育相談に関する調査・研究・研修		
係長	西本 由美	教育相談担当の統括
指導主事	荒木 伸子	教育相談、高等学校カウンセラー派遣、SC配置事業、研究部会
嘱託員	岡本 敦	教育相談、調査研究
嘱託員	田中 優喜	教育相談、調査研究
嘱託員	太田 有希	教育相談、調査研究
嘱託員	立花 直子	教育相談、調査研究
嘱託員	清水 陽三	電話相談
嘱託員	奥田 佐恵	電話相談
特別支援教育担当		
※幼稚園・小学校・中学校における特別支援教育の指導助言 ※介助員配置事業 ※看護師等配置事業 ※スクールバス運転業務事業 ※就学指導事業 ※合同宿泊訓練推進事業 ※心の教育特別支援員配置事業 ※心の教育ボランティア配置事業		
係長	福田 肇	特別支援教育担当の総括
指導主事	今泉 和子	幼稚園・小学校担当、看護師配置業務、心の教育特別支援員配置事業等
指導主事	小寺 英樹	中学校・特別支援学校担当、介助員配置事業、就学指導委員会等
庶務担当		
※ 教育相談に係る庶務 ※ 特別支援教育に係る庶務		
主任	山崎 明美	文書管理、予算の管理・調整要求及び決算業務、事業にかかる支出業務

4 教育相談課の研修事業等報告

1 教育相談スーパーバイズ

教育相談および不登校事例等に関し、専門的な立場である大学教員および心療内科医から援助・指導を受けることにより、相談員や訪問指導員等の資質向上と業務の充実を図ります。

〈スーパーバイザー〉

分野	氏名	職名
教育臨床	井上 敏明	六甲カウンセリング研究所長
心療内科医	小倉 義廣	こくらクリニック院長
臨床心理	羽下 大信	甲南大学大学院教授

年	月	日	バイザー	テーマ・内容
20	6	12	小倉 義廣	身体症状を訴える女子中学生についての事例検討及び身体表現性障害についての講話
20	7	24	羽下 大信	口臭を気にして外出できない不登校高校生についての事例検討
20	10	16	井上 敏明	刑事事件におけるアスペルガー症候群について
21	1	29	小倉 義廣	集団不応の姉弟についての事例検討及び発達障害についての講話
21	2	12	井上 敏明	知的障害をもった子どもへの支援についての事例検討

2 特別支援教育コーディネーター研修会

講師 井上敏明 氏

年	月	日	テーマ	参加者
21	2	5	発達障害のある児童生徒への関わり方・指導方法について（講話）	61

平成20年度『教育相談課』活動状況（平成20年4月～21年3月）

1 相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数		205	314	239	130	54	134	166	118	117	110	119	91	1,797
①+②														
①電話相談		127	90	134	91	46	116	142	103	104	93	98	76	1,220
面接 相談	②新規相談件数	78	224	105	39	8	18	24	15	13	17	21	15	577
	③延面接数	175	412	343	285	199	263	331	276	204	281	271	275	3,315
延相談件数 ①+③		302	502	477	376	245	379	473	379	308	374	369	351	4,535
内 数	出張 相談													
	延面接数	0	0	23	5	2	3	0	3	0	8	3	4	51
	研修数	0	1	1	1	7	2	3	2	2	2	1	1	23
	観察等調査数	前年3月より実施のため												305
延出張相談数		0	213	117	6	9	5	3	5	2	10	4	5	379

2 電話相談

(1) 相談内容別数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体言語	7	8	4	1	1	5	5	4	2	1	1	2	41
精神情緒	22	20	38	23	7	45	52	41	23	38	49	23	381
性格行動	61	36	57	44	25	40	51	38	38	33	35	28	486
学業進路	15	13	11	15	8	13	18	11	20	18	10	15	167
その他	22	13	24	8	5	13	16	9	21	3	3	8	145
合計	127	90	134	91	46	116	142	103	104	93	98	76	1,220

(2) 相談対象者別数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就学前	0	3	5	7	4	6	12	4	1	1	10	2	55
小学生	45	24	43	44	19	69	59	53	64	44	54	39	557
中学生	24	20	42	12	12	21	39	23	24	32	24	19	292
高校生	10	13	10	7	6	10	14	13	4	6	4	7	104
教員他	48	30	34	21	5	10	18	10	11	10	6	9	212
合計	127	90	134	91	46	116	142	103	104	93	98	76	1,220

(3) 相談者別数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小学生	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	4
中学生	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	1	5
高校生	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	5
教師	18	14	22	19	21	34	39	30	35	31	35	23	321
保護者	60	46	61	47	22	63	80	53	54	47	41	43	617
その他	48	28	51	25	3	17	22	17	14	14	20	9	268
合計	127	90	134	91	46	116	142	103	104	93	98	76	1,220

3 面接相談

(1) 受付人数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男子	19	166	65	6	2	6	7	6	1	3	2	1	284
女子	59	58	40	33	6	12	17	9	12	14	19	14	293
合計	78	224	105	39	8	18	24	15	13	17	21	15	577

(2) 相談内容別数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体言語	相談者数	1	3	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	9
	延面接数	3	6	5	4	1	2	2	6	0	0	0	3	32
精神情緒	相談者数	30	7	11	9	1	6	10	8	4	5	9	3	103
	延面接数	79	73	101	104	68	98	137	128	85	116	126	107	1,222
性格行動	相談者数	41	177	74	22	6	8	11	6	7	11	11	7	381
	延面接数	83	285	192	167	116	146	179	132	110	149	134	148	1,841
学業進路	相談者数	5	3	2	6	1	2	2	1	2	1	0	4	29
	延面接数	9	14	6	9	13	14	11	5	6	13	6	13	119
その他	相談者数	1	34	16	1	0	2	0	0	0	0	1	0	55
	延面接数	1	34	39	1	1	3	2	5	3	3	5	4	101
合計	相談者数	78	224	105	39	8	18	24	15	13	17	21	15	577
	延面接数	175	412	343	285	199	263	331	276	204	281	271	275	3,315

(3) 相談対象者別数(校種別)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就学前	相談者数	1	5	10	5	1	2	3	2	2	1	5	1	38
	延面接数	2	11	24	22	17	25	30	25	16	22	26	24	244
小学生	相談者数	44	154	56	22	6	7	12	6	8	10	6	10	341
	延面接数	98	263	179	164	128	157	174	149	115	172	133	167	1,899
中学生	相談者数	25	26	21	11	1	4	5	4	2	5	8	4	116
	延面接数	55	82	87	84	42	66	96	76	59	74	94	71	886
高校生	相談者数	6	4	3	0	0	3	2	3	1	1	1	0	24
	延面接数	16	19	14	13	9	11	26	21	11	12	12	10	174
教員他	相談者数	2	35	15	1	0	2	2	0	0	0	1	0	58
	延面接数	4	37	39	2	3	4	5	5	3	1	6	3	112
合計	相談者数	78	224	105	39	8	18	24	15	13	17	21	15	577
	延面接数	175	412	343	285	199	263	331	276	204	281	271	275	3,315

(4) 紹介者経路

	継続・以前	学校・園等	知人	病院	公的機関	市報・その他	合計
人数	113	375	33	4	31	21	577

4 特別支援学級

(平成21年3月1日現在)

	知的障害	情緒障害	肢体不自由	難聴	弱視	病弱	合計
小学校(学級数)	38	29	24	3	1	0	95
中学校(学級数)	17	6	6	2	0	1	32

5 巡回相談

	幼稚園	小学校	中学校	合計
回数	1	21	7	29